

【別表2】各室(エリア)の特殊条件

区分	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考																												
共用	-		各室共通		<ul style="list-style-type: none"> 廊下側は可能な限りガラス窓等とする。 実験室は原則引き戸とし、各室とも2箇所以上の出入り口を設ける。廊下側に2箇所取れない場合は、隣室との間仕切りに扉を設けるものとする。 	室名札 各計量器																													
	1~2		エントランスホール	エントランスホール	<ul style="list-style-type: none"> 風除室を設ける。 1階エントランスについては、段差を設けないバリアフリー対応とする。 各講座の催し物のポスターを掲示等、展示スペースとしても利用可能とする。 各専攻で所有する文化的所蔵品や資料(下記リスト参照)を展示するスペースとして利用可能とする。 ライティングダクト+スポットライト等、展示スペースとして効果的な照明器具を設置する。 展示物候補のリストは下記のとおり。 ■船の模型(大型~中型) <table border="0"> <tr> <td>1</td> <td>NYK NAGASAKI MARU</td> <td>現3号館/32号教室前</td> <td>3345*700*1440(W×D×H)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>H.M.S HOOD</td> <td>現3号館/図書室前</td> <td>1870*460*1180(W×D×H)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>MHI 鎌倉丸</td> <td>現3号館/3階 女子トイレ前</td> <td>2080*670*1500(W×D×H)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>IHI FREEDOM MARK-II</td> <td>現3号館/305号室前</td> <td>1740*440*1310(W×D×H)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>MHI CGM NO.1</td> <td>現3号館/308 会議室前</td> <td>2031*712*1460(W×D×H)</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>国際汽船株式会社 鹿野丸</td> <td>現3号館/32号教室内</td> <td>915*260* 415(W×D×H)</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>漁船</td> <td>現3号館/ 308号室前</td> <td>967*421*1334(W×D×H)</td> </tr> </table>	1	NYK NAGASAKI MARU	現3号館/32号教室前	3345*700*1440(W×D×H)	2	H.M.S HOOD	現3号館/図書室前	1870*460*1180(W×D×H)	3	MHI 鎌倉丸	現3号館/3階 女子トイレ前	2080*670*1500(W×D×H)	4	IHI FREEDOM MARK-II	現3号館/305号室前	1740*440*1310(W×D×H)	5	MHI CGM NO.1	現3号館/308 会議室前	2031*712*1460(W×D×H)	6	国際汽船株式会社 鹿野丸	現3号館/32号教室内	915*260* 415(W×D×H)	7	漁船	現3号館/ 308号室前	967*421*1334(W×D×H)	靴ふきマット(風除室) 掲示板、ビクチャーレール 展示物基礎及び固定用アンカー、固定用金具等	
	1	NYK NAGASAKI MARU	現3号館/32号教室前	3345*700*1440(W×D×H)																															
	2	H.M.S HOOD	現3号館/図書室前	1870*460*1180(W×D×H)																															
	3	MHI 鎌倉丸	現3号館/3階 女子トイレ前	2080*670*1500(W×D×H)																															
	4	IHI FREEDOM MARK-II	現3号館/305号室前	1740*440*1310(W×D×H)																															
	5	MHI CGM NO.1	現3号館/308 会議室前	2031*712*1460(W×D×H)																															
	6	国際汽船株式会社 鹿野丸	現3号館/32号教室内	915*260* 415(W×D×H)																															
	7	漁船	現3号館/ 308号室前	967*421*1334(W×D×H)																															
1		展示スペース		<ul style="list-style-type: none"> 各専攻で所有する文化的所蔵品や資料を展示するスペースとして利用可能とする。 ライティングダクト+スポットライト等、展示スペースとして効果的な照明器具を設置する。 展示物候補のリストは【別表3】を参照のこと。 	展示物基礎及び固定用アンカー、固定用金具等 掲示板、ビクチャーレール																														
B1~9		EVホール																																	
全		WC		<ul style="list-style-type: none"> 「東京都福祉のまちづくり条例」の整備基準に基づいた仕様とする 温水洗浄便座が設置可能なようにコンセント及び給水を設ける。 多目的便所を各階に設ける。 																															
全		廊下		<ul style="list-style-type: none"> 各室との間仕切りには、ビクチャーレールを設け、各講座のポスターやパネルを展示可能とする。 教室室前及び各階常用エレベーターホール付近に掲示板を設ける。 	掲示板、ビクチャーレール																														
全		階段室																																	
全		倉庫・コピー室		<ul style="list-style-type: none"> 各フロア共同で使用使用するコピー、倉庫のためのスペース。 																															
全		給湯室		<ul style="list-style-type: none"> 各階に共同で利用可能な給湯室を複数箇所設ける。 ゴミ置き場を併設する。 	流し台、吊り戸、換気扇																														

【別表2】各室(エリア)の特殊条件

区分	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考																																																													
	全		エコラウンジ	館内の学生、教職員の休息、憩いの場	・給湯設備(パーティーシンク)、自販機を設け、飲食可能なスペースとする。 ・インフォーマルなパーティーや、学習、研究のスペースとしても利用可能とする。	パーティーシンク 掲示板、ピクチャーレール																																																														
	全		PS																																																																	
	全		DS																																																																	
	全		EPS																																																																	
	1~9		NWEPS	各階へのネットワーク機器設置のための基幹スイッチ室。	・UTPケーブル×2とする。 ・学内ネット接続用以外に、専攻毎に独自ネットワークを構築する等複数ネットワークの需要があり、これも含めてネットワークとして管理する専用スペース。 ・鍵はNWEPSとしての単独鍵とし、マスターキーに組み込む。 ・下記の発熱量に対応した空調設備あるいは換気設備を設ける。 設置予定機器類の予想発熱量スイッチ類 8,400 BTU/hr (スイッチ: 2,100 BTU/hr × 4 = 8,400 BTU/hr)																																																															
共用	B1		危険物倉庫	保管庫	・実験用薬品等の保管庫 ・館内の実験室で使用する危険物を貯蔵保管する部屋。 ・保管予定の危険物の種類及び数量は下記の表の通りとする。 ・安全管理上支障のない計画とする。	危険物保管のための設備	設置階については、参考平面図によることなく、入札参加者の提案によるものとする。																																																													
					<table border="1"> <tbody> <tr> <td rowspan="11">第4類: 引火性液体</td> <td>特殊引火物</td> <td>ジエチルエーテル ペンタン</td> <td>153 L</td> <td>3.06</td> <td>50 L</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">第1石油類 非水溶性液体</td> <td>酢酸エチル ヘキサン トルエン ベンゼン</td> <td>897 L</td> <td>4.485</td> <td>200 L</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第1石油類 水溶性液体</td> <td>アセトン アセトニトリル THF</td> <td>707 L</td> <td>1.7675</td> <td>400 L</td> </tr> <tr> <td>ジオキサン</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">アルコール類</td> <td>2-プロパノール エタノール メタノール 変性アルコール</td> <td>742 L</td> <td>1.855</td> <td>400 L</td> </tr> <tr> <td>第2石油類 非水溶性液体</td> <td>ジクロロベンゼン</td> <td>40 L</td> <td>0.04</td> <td>1000 L</td> </tr> <tr> <td>第2石油類 水溶性液体</td> <td></td> <td>L</td> <td>0</td> <td>2000 L</td> </tr> <tr> <td>第3石油類 非水溶性液体</td> <td></td> <td>L</td> <td>0</td> <td>2000 L</td> </tr> <tr> <td>第2石油類 水溶性液体</td> <td></td> <td>L</td> <td>0</td> <td>4000 L</td> </tr> <tr> <td>第4石油類</td> <td>真空ポンプオイル</td> <td>74 L</td> <td>0.0123</td> <td>6000 L</td> </tr> <tr> <td>動植物油類</td> <td></td> <td>L</td> <td>0</td> <td>10000 L</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合計</td> <td></td> <td>11.2198</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	第4類: 引火性液体	特殊引火物	ジエチルエーテル ペンタン	153 L	3.06	50 L	第1石油類 非水溶性液体	酢酸エチル ヘキサン トルエン ベンゼン	897 L	4.485	200 L	第1石油類 水溶性液体	アセトン アセトニトリル THF	707 L	1.7675	400 L	ジオキサン				アルコール類	2-プロパノール エタノール メタノール 変性アルコール	742 L	1.855	400 L	第2石油類 非水溶性液体	ジクロロベンゼン	40 L	0.04	1000 L	第2石油類 水溶性液体		L	0	2000 L	第3石油類 非水溶性液体		L	0	2000 L	第2石油類 水溶性液体		L	0	4000 L	第4石油類	真空ポンプオイル	74 L	0.0123	6000 L	動植物油類		L	0	10000 L	合計				11.2198			
第4類: 引火性液体	特殊引火物	ジエチルエーテル ペンタン	153 L	3.06	50 L																																																															
	第1石油類 非水溶性液体	酢酸エチル ヘキサン トルエン ベンゼン	897 L	4.485	200 L																																																															
		第1石油類 水溶性液体	アセトン アセトニトリル THF	707 L	1.7675		400 L																																																													
			ジオキサン																																																																	
	アルコール類	2-プロパノール エタノール メタノール 変性アルコール	742 L	1.855	400 L																																																															
		第2石油類 非水溶性液体	ジクロロベンゼン	40 L	0.04		1000 L																																																													
	第2石油類 水溶性液体		L	0	2000 L																																																															
	第3石油類 非水溶性液体		L	0	2000 L																																																															
	第2石油類 水溶性液体		L	0	4000 L																																																															
	第4石油類	真空ポンプオイル	74 L	0.0123	6000 L																																																															
	動植物油類		L	0	10000 L																																																															
合計				11.2198																																																																

【別表2】各室(エリア)の特殊条件

区分	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考																											
共用	B1	1115	発電機室	発電機室																														
	B1	1116	通信機械室	通信機械室	<ul style="list-style-type: none"> ・学内ネットワークの引き込み点。基幹スイッチ室 ・下記の発熱量に対応した空調設備を設ける。 ・設置予定機器類の予想発熱量 ・スイッチ類 26,500 BTU/hr (内訳) <ul style="list-style-type: none"> ・基幹スイッチ 9,000 BTU/hr × 2 = 18,000 BTU/hr ・スイッチ類 1,700 BTU/hr × 2 = 3,400 BTU/hr ・サーバ類 1,700 BTU/hr × 3 = 5,100 BTU/hr 																													
	B1	1117	電気室	電気室																														
	B1	1118	衛生設備機械室	衛生設備機械室																														
	1	123	設備監視室	中央監視室																														
共同	9		ポンベ庫	ポンベ保管庫	<ul style="list-style-type: none"> ・館内の実験室で使用する各種特殊ガス予備ポンベを貯蔵保管する部屋。 ・保管予定のガスの種類及び数量は下記の表の通りとする。 ・安全管理上支障のない計画とする。 <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>種別</th> <th>ガス種、ガス名称等</th> <th>数量</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">予備ポンベ保有数</td> <td>可燃性ガス(水素、メタン、プロパン等)</td> <td>メタン、エチレン、水素</td> <td>14</td> <td>本</td> </tr> <tr> <td>支燃性ガス(酸素)</td> <td>酸素ポンベ47リットル1本(電気系)、酸素、窒素、アルゴン</td> <td>6</td> <td>本</td> </tr> <tr> <td>毒性ガス(塩素、アンモニア、酸化エチレン等)</td> <td></td> <td>0</td> <td>本</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>窒素ポンベ47リットル1本(電気系)、窒素、アルゴン</td> <td>52</td> <td>本</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合計</td> <td>72</td> <td>本</td> </tr> </tbody> </table>	種別	種別	ガス種、ガス名称等	数量	単位	予備ポンベ保有数	可燃性ガス(水素、メタン、プロパン等)	メタン、エチレン、水素	14	本	支燃性ガス(酸素)	酸素ポンベ47リットル1本(電気系)、酸素、窒素、アルゴン	6	本	毒性ガス(塩素、アンモニア、酸化エチレン等)		0	本	その他	窒素ポンベ47リットル1本(電気系)、窒素、アルゴン	52	本	合計			72	本	ポンベ保管のための設備	設置階については、参考平面図によることなく、入札参加者の提案によるものとする。
	種別	種別	ガス種、ガス名称等	数量	単位																													
予備ポンベ保有数	可燃性ガス(水素、メタン、プロパン等)	メタン、エチレン、水素	14	本																														
	支燃性ガス(酸素)	酸素ポンベ47リットル1本(電気系)、酸素、窒素、アルゴン	6	本																														
	毒性ガス(塩素、アンモニア、酸化エチレン等)		0	本																														
	その他	窒素ポンベ47リットル1本(電気系)、窒素、アルゴン	52	本																														
合計			72	本																														
B1	1101	実験室	レンタル用実験スペース	<ul style="list-style-type: none"> ・学内のプロジェクト(実験)や外部と連携したプロジェクト(実験)を行うための汎用実験スペース。 ・原則として実験のために必要な間仕切りや装置は、利用者が設置する。 																														
B1	1108	実験室	レンタル用実験スペース	<ul style="list-style-type: none"> ・学内のプロジェクト(実験)や外部と連携したプロジェクト(実験)を行うための汎用実験スペース。 ・間仕切りにより5つに区分各区分毎に実験室としての標準的な設備を設置する。 ・原則として実験のために必要な、装置は利用者が設置する。 		レンタルラボ部分																												

【別表2】各室(エリア)の特殊条件

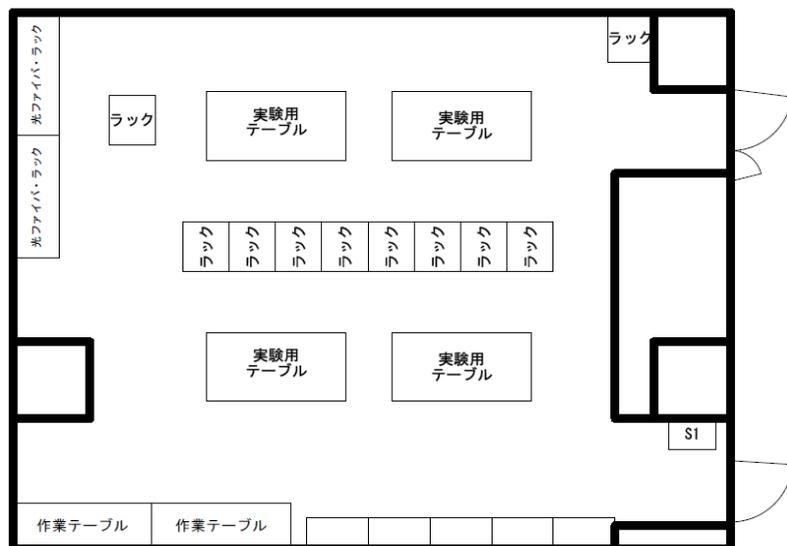
区分	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考
共同	B1	1114	実験室	レンタル用実験スペース	・学内のプロジェクト(実験)や外部と連携したプロジェクト(実験)を行うための汎用実験スペース。 ・原則として実験のために必要な内装や装置は、利用者が設置する。		
	B1	1119	実験室	レンタル用実験スペース	・学内のプロジェクト(実験)や外部と連携したプロジェクト(実験)を行うための汎用実験スペース。 ・原則として実験のために必要な間仕切りや装置は、利用者が設置する。		
	1	136	共同スペース(研究室)	レンタル用研究スペース	・学内のプロジェクト(研究)や外部と連携したプロジェクト(研究)を行うための汎用研究スペース。 ・原則として研究のために必要な備品は、利用者が設置する。		
	2	207	イノベーション推進室	講義室等	・講義室等に利用する。	白板、スクリーンボックス、暗幕用カーテンレール、天井吊りプロジェクター用固定金物	
	2	222	人材育成プラザ 教育推進プラザ	講義室等	・講義室等に利用する。	白板、スクリーンボックス、暗幕用カーテンレール、天井吊りプロジェクター用固定金物	
	3	344	共同スペース(研究室)	レンタル用研究スペース	・学内のプロジェクト(研究)や外部と連携したプロジェクト(研究)を行うための汎用研究スペース。 ・原則として研究のために必要な、備品は利用者が設置する。		
	5	501	共同スペース(化生会議室(1))	会議室	・化生系の会議室として使用予定	白板、スクリーンボックス、暗幕用カーテンレール、天井吊りプロジェクター用固定金物	
	5	502	共同スペース(化生会議室(2))	会議室	・化生系の会議室として使用予定	白板、スクリーンボックス、暗幕用カーテンレール、天井吊りプロジェクター用固定金物	
	5	503	共同スペース(実験室)	実験室	・化生系の実験室として使用予定 ・夜間以降の利用人員は、12時まで、夜間と同じ人員数。 ・特殊ガスについては、N ₂ 、He、H ₂ 、圧縮空気、Ar又はN ₂ が必要。 ・排気フード1箇所設置。SUS製700角、1200CMH、ボリュームダンパ付、排気処理不要。(ガラス細工用) ・実験機器により、数℃の温度調整がある。また除湿機能が必要。	ドラフト用排気ダクト 排気フード用ダクト	
	5	504	欠番				
5	505	共同スペース(ドラフト実験室)	実験室	・夜間以降の利用人員は、12時まで、夜間と同じ人員数。 ・電源設備は619室相当の容量とする。	ドラフト用排気ダクト 排気フード用ダクト		

【別表2】各室(エリア)の特殊条件

区分	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考
共同	5	537	共同スペース(研究室)	レンタル用研究スペース	<ul style="list-style-type: none"> ・学内のプロジェクト(研究)や外部と連携したプロジェクト(研究)を行うための汎用研究スペース。 ・原則として研究のために必要な備品は、利用者が設置する。 		
	6	631	共同スペース(研究室)	レンタル用研究スペース	<ul style="list-style-type: none"> ・学内のプロジェクト(研究)や外部と連携したプロジェクト(研究)を行うための汎用研究スペース。 ・原則として研究のために必要な備品は、利用者が設置する。 		
	6	632	共同スペース(研究室)	レンタル用研究スペース	<ul style="list-style-type: none"> ・学内のプロジェクト(研究)や外部と連携したプロジェクト(研究)を行うための汎用研究スペース。 ・原則として研究のために必要な備品は、利用者が設置する。 		
福利	2	213	福利厚生施設(1)	軽食・物販等のサービス提供のスペース	<ul style="list-style-type: none"> ・学内の学生や教職員のための福利厚生のサービス(飲食、物販等)を事業者が提供するスペース。 ・標準的な電気設備、空調設備、給排水設備、内装については本工事にて行う。 ・特殊内装、特殊設備、什器等の付帯設備については、事業者負担とする。 		
	2	230	福利厚生施設(2)	軽食・物販等のサービス提供のスペース	<ul style="list-style-type: none"> ・学内の学生や教職員のための福利厚生のサービス(飲食、物販等)を事業者が提供するスペース。 ・標準的な電気設備、空調設備、給排水設備、内装については本工事にて行う。 ・特殊内装、特殊設備、什器等の付帯設備については、事業者負担とする。 		
	2	231	福利厚生施設(3)	軽食・物販等のサービス提供のスペース	<ul style="list-style-type: none"> ・学内の学生や教職員のための福利厚生のサービス(飲食、物販等)を事業者が提供するスペース。 ・標準的な電気設備、空調設備、給排水設備、内装については本工事にて行う。 ・特殊内装、特殊設備、什器等の付帯設備については、事業者負担とする。 		

【別表2】各室(エリア)の特殊条件

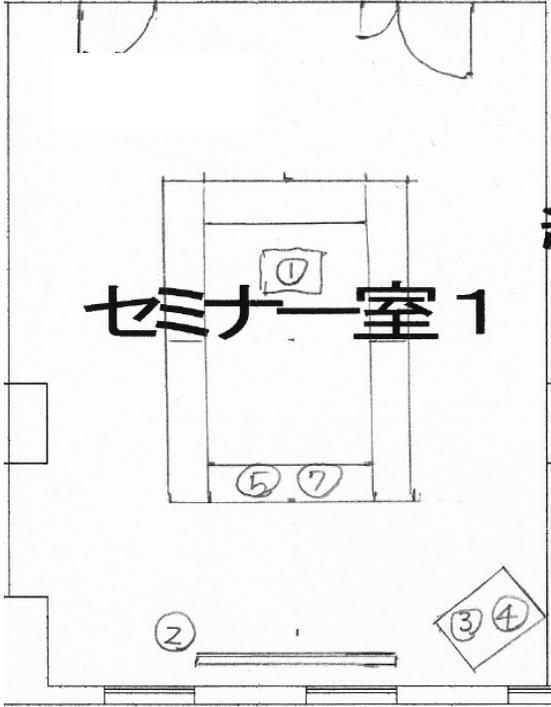
区分	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考
電気系	1	101	教員室				
	1	102	教員室				
	1	103	教員室				
	1	104	教員室				
	1	105	教員室				
	1	106	教員室				
	1	107	実験室	光通信に関する基礎研究を行う実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・床仕上: 静電気による実験装置の故障発生を避けるため、床仕上げ材は帯電防止型であること。 ・天井仕上: 実験装置間の接続に多数のケーブルを使用するため、ケーブル類を格納する天井ラックを設置すること。 ・境界壁: 108実験室と光ファイバによる連携実験を可能とするため、天井ラックと同じ高さに108実験室との境界壁にφ100程度の通り抜け穴を設置すること。 ・電源設備: 同時に使用する必要がある主な実験装置の消費電力合計が14,000VA程度となることから、実験室の最大電力供給量は15,000VAであること。 ・多数の実験装置を使用することから、実験装置用の電源コンセントを4個/m²程度の密度で天井に設置すること。 ・扉の形状: 高さが200cm程度、幅が100cm程度の実験装置を搬入する必要があるため、主扉はW1600以上を確保する。 		



【別表2】各室(エリア)の特殊条件

区分	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考
電気系	1	108	実験室	光通信に関する基礎研究を行う実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・床仕上: 静電気による実験装置の故障発生を避けるため、床仕上げ材は帯電防止型であること。 ・天井仕上: 実験装置間の接続に多数のケーブルを使用するため、ケーブル類を格納する天井ラックを設置すること。 ・境界壁: 107実験室と光ファイバによる連携実験を可能とするため、天井ラックと同じ高さ107実験室との境界壁にφ100程度の通り抜け穴を設置すること。 ・電源設備: 同時に使用する必要がある主な実験装置の消費電力合計が14,000VA程度となることから、実験室の最大電力供給量は15,000VAであること。 ・多数の実験装置を使用することから、実験装置用の電源コンセントを4個/m²程度の密度で天井に設置すること。 ・扉の形状: 高さが200cm程度、幅が100cm程度の実験装置を搬入する必要があるため、主扉はW1600以上を確保する。 		

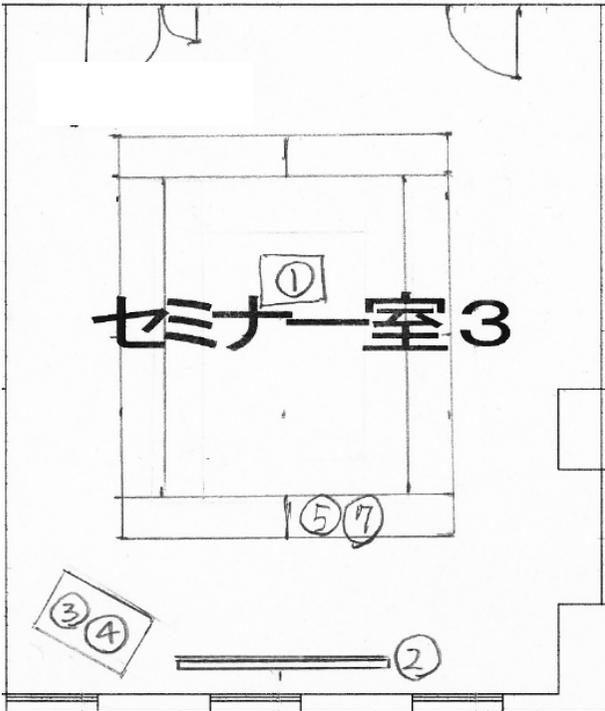
【別表2】各室(エリア)の特殊条件

区分	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考
電気系	1	109	セミナー室		<p>・将来的に教員室に転用する可能性がある。施錠方式はナンバーロックまたはIDカード方式の対応可能なものとする。</p>  <p style="text-align: center; font-size: 2em;">セミナー室 1</p>	白板	
	1	110	研究室				
	1	111	研究室				

【別表2】各室(エリア)の特殊条件

区分	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考
電気系	1	112	セミナー室		<p>・将来的に教員室に転用する可能性がある。施錠方式はナンバーロックまたはIDカード方式の対応可能なものとする。</p>	白板	
	1	113	研究室				
	1	114	研究室				

【別表2】各室(エリア)の特殊条件

区分	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考
電気系	1	115	セミナー室		<p>・将来的に教員室に転用する可能性がある。施錠方式はナンバーロックまたはIDカード方式の対応可能なものとする。</p>  <p>The diagram is a floor plan of a seminar room. It features a large rectangular area in the center, possibly a stage or a table, with the text 'セミナー室3' (Seminar Room 3) written across it. There are several numbered callouts: ① is a square box above the central area; ② is a circle at the bottom right; ③ and ④ are circles in a box at the bottom left; ⑤ and ⑥ are circles at the bottom center; ⑦ is a circle at the bottom right of the central area. The room has a door on the right side and a window at the top.</p>	白板	

【別表2】各室(エリア)の特殊条件

区分	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考
電気系	1	116	実験室	光通信に関する基礎研究を行う実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・床仕上: 静電気による実験装置の故障発生を避けるため、床仕上げ材は帯電防止型であること。 ・天井仕上: 実験装置間の接続に多数のケーブルを使用するため、ケーブル類を格納する天井ラックを設置すること。 ・境界壁: 117実験室と光ファイバによる連携実験を可能とするため、天井ラックと同じ高さに117実験室との境界壁にφ100程度の通り抜け穴を設置すること。 ・電源設備: 同時に使用する必要がある主な実験装置の消費電力合計が14,000VA程度となることから、実験室の最大電力供給量は15,000VAであること。 ・多数の実験装置を使用することから、実験装置用の電源コンセントを4個/m²程度の密度で天井に設置すること。 ・扉の形状: 高さが200cm程度、幅が100cm程度の実験装置を搬入する必要があるため、主扉はD3仕様以上の大きさとする。 		
					<p>The diagram shows a floor plan of the laboratory area. It includes two main rooms: 116室 and 117室. Room 116 is equipped with several experimental tables (実験用テーブル), racks (ラック), and fiber optic racks (光ファイバ・ラック). Room 117 contains additional racks and a door labeled S1. The layout is designed to accommodate various experimental setups and equipment.</p>		

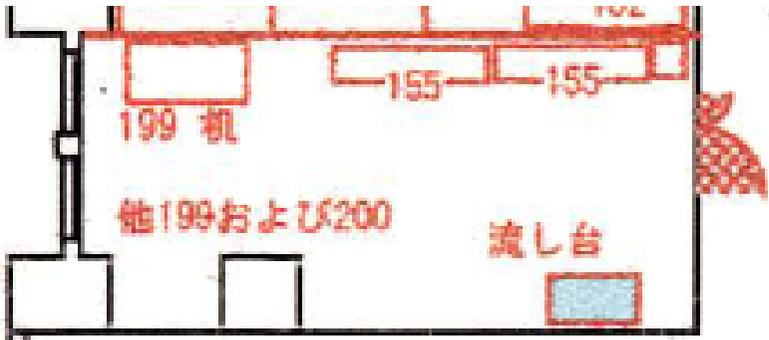
【別表2】各室(エリア)の特殊条件

区分	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考
電気系	1	117	実験室	光通信に関する基礎研究を行う実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・床仕上: 静電気による実験装置の故障発生を避けるため、床仕上げ材は帯電防止型であること。 ・天井仕上: 実験装置間の接続に多数のケーブルを使用するため、ケーブル類を格納する天井ラックを設置すること。 ・境界壁: 116及び118実験室と光ファイバによる連携実験を可能とするため、天井ラックと同じ高さに116及び118実験室との境界壁にφ100程度の通り抜け穴を設置すること。 ・電源設備: 同時に使用する必要がある主な実験装置の消費電力合計が14,000VA程度となることから、実験室の最大電力供給量は15,000VAであること。 ・多数の実験装置を使用することから、実験装置用の電源コンセントを4個/m²程度の密度で天井に設置すること。 ・扉の形状: 高さが200cm程度、幅が100cm程度の実験装置を搬入する必要があるため、主扉はW1600以上を確保する。 		

【別表2】各室(エリア)の特殊条件

区分	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考
電気系	1	118	実験室	光通信に関する基礎研究を行う実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・床仕上: 静電気による実験装置の故障発生を避けるため、床仕上げ材は帯電防止型であること。 ・天井仕上: 実験装置間の接続に多数のケーブルを使用するため、ケーブル類を格納する天井ラックを設置すること。 ・境界壁: 117実験室と光ファイバによる連携実験を可能とするため、天井ラックと同じ高さ117実験室との境界壁にφ100程度の通り抜け穴を設置すること。 ・電源設備: 同時に使用する必要がある主な実験装置の消費電力合計が14,000VA程度となることから、実験室の最大電力供給量は15,000VAであること。 ・多数の実験装置を使用することから、実験装置用の電源コンセントを4個/m²程度の密度で天井に設置すること。 ・扉の形状: 高さが200cm程度、幅が100cm程度の実験装置を搬入する必要があるため、主扉はW1600以上を確保する。 		

【別表2】各室(エリア)の特殊条件

区分	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考
電気系	1	119	実験準備室	実験準備室	<p>・「120実験室」との境界壁には透明ガラス窓(大きさ900×3600程度を設(開閉できなくてもよい)を設け、「120実験室」の状況が当室から視認できるようにする。また、窓にはブラインドを設置する</p> 		

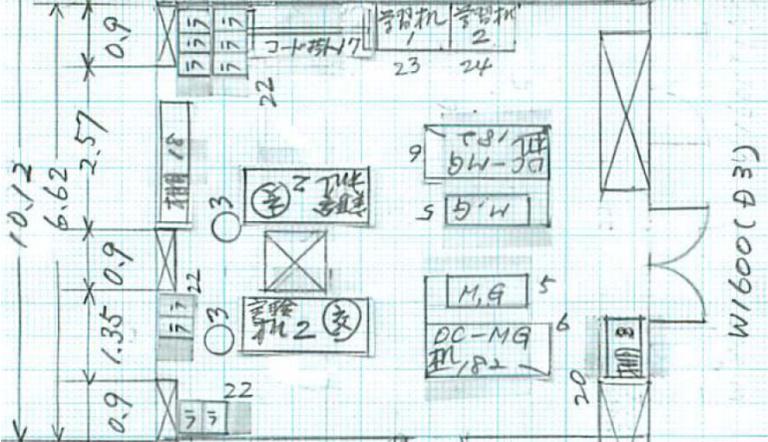
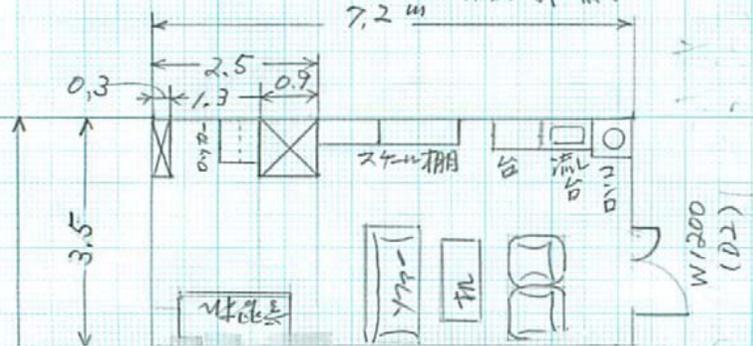
【別表2】各室(エリア)の特殊条件

区分	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考
電気系	1	120	実験室	実験室	<p>・119実験準備室との境界壁には透明ガラス窓(大きさ900×3600程度。開閉できなくてもよい)を設け、当室の状況が119実験準備室から視認できるようにする。</p> <p>・必要な配電設備:</p> <p>(1)実験用三相200V60A×30(うち14個は下位開閉器として実験机上に設置。上位開閉器との間の配線は床下に敷設),</p> <p>(2)実験用三相100V60A×2(うち1個は下位開閉器として実験机上に設置。上位開閉器との間の配線は床下に敷設),</p> <p>(3)実験用三相(単相でもよい)100V60A×26(半数は下位開閉器として実験机上に設置。上位開閉器との間の配線は床下に敷設),</p> <p>(4)実験用三相(単相でもよい)100V30A×6,</p> <p>(5)実験用直流100V60A×28(半数は下位開閉器として実験机上に設置。上位開閉器との間の配線は床下に敷設),</p> <p>(6)高周波MG駆動実験用三相400V 150kVA,</p> <p>(7)直流電源装置用三相200V 250A,</p> <p>・扉仕様. 扉の形状: 両開き戸W2100×H2700(一箇所、大型装置搬入搬出のために必要)、D3(両開き戸W1600×2100)(一箇所)、D1(119実験準備室との間に一箇所)を設ける。</p>	重量実験機器用基礎及び固定用アンカー	

【別表2】各室(エリア)の特殊条件

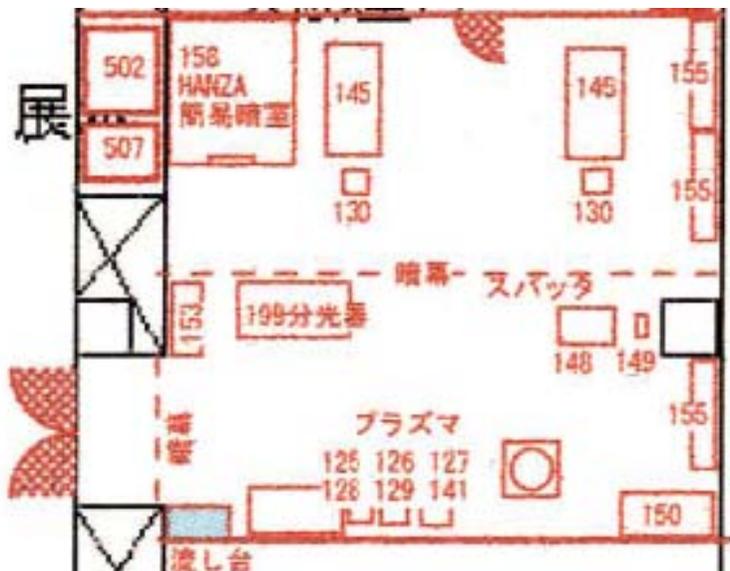
区分	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考
電気系							

【別表2】各室(エリア)の特殊条件

区分	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考
電気系	1	121	実験室	実験室	<p>・122実験準備室との境界壁には透明ガラス窓(大きさ600×900程度。開閉できなくてもよい)を設け、当室の状況が122実験準備室から視認できるようにする。</p> <p>・必要な配電設備:(1)実験用三相200V 60A×2 (2)実験用三相100V 60A×3 (3)実験用直流100V 60A×3</p> 	重量実験機器用基礎及び固定用アンカー	
	1	122	実験準備室	実験準備室	<p>・121実験室との境界壁には透明ガラス窓(大きさ600×900程度。開閉できなくてもよい)を設け、121実験室の状況が当室から視認できるようにする。また、窓にはブラインドを設置する</p> 		

【別表2】各室(エリア)の特殊条件

区分	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考
電気系	1	124	サーバ室	集積回路やMEMSの設計をするための大型サーバ(24時間稼働、冬季も空冷必要)と、8名まで同時に設計ができる端末を装備した部屋。	<ul style="list-style-type: none"> 電源: 個別ブレーカーとして、1Φ100V75A を3系統以上装備すること。5.5kWの無停電電源装置(1台現有、2台新設)を接続するため。 空調: この部屋は発熱が大きい(SunFire3800など大型のサーバを移設予定)ため、個別空調が必要。隣部屋と室外機の共用厳禁のこと。 防音: 24時間365日冷却ファンの風切り音が大きい。従って特に廊下側の壁を防音にすること。 情報コンセント: 複数のVLANでライセンス管理を行いたいので、Cat6E の口を6口以上(LocalとGlobalがそれぞれ3口)設置する。 この部屋に、6講座分のサーバ(3ラック)を全て集中配置する予定 独立空調: サーバ室のため24時間365日空冷が必要。 防音扉: 扉を防音扉にすること(風切り音が発生するため) 		
	1	125	実験室	実験室	<ul style="list-style-type: none"> 必要な配電設備: (1)実験用三相200V60A×2、(2)実験用三相(単相でもよい)100V30A×6 照明設備: 独立二系統(室内に入切スイッチ設置) 扉仕様、扉の形状: 両開き戸W2100×H2700(一箇所)、D1(片開き戸W800×2100)(126実験室との間に一箇所); 大型装置搬入搬出のためおよび避難路確保のために必要 特殊設備: 排気用ダクトおよびファン(流量50N立米/h) 特殊設備: 暗幕 	重量実験機器用基礎及び固定用アンカー 排気フード用ダクト 暗幕用カーテンレール	

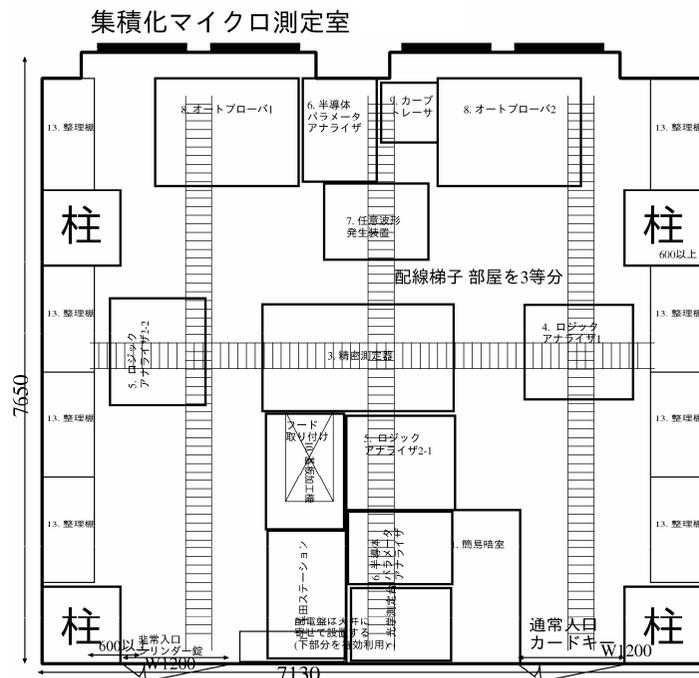


【別表2】各室(エリア)の特殊条件

区分	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考
電気系	1	126	実験室	実験室	<ul style="list-style-type: none"> 必要な配電設備: (1)実験用三相200V60A×2, (2)実験用三相(単相でもよい)100V30A×6 照明設備: 室内に入切スイッチ設置 扉仕様、扉の形状: 両開き戸W2100×H2700(一箇所)、D1×2(片開き戸W800×2100126実験室との間および118実験室との間に一箇所ずつ); 大型装置搬入搬出のためおよび避難路確保のために必要 特殊設備: 排気用ダクトおよびファン(流量50N立米/h) 特殊設備: 暗幕 	排気フード用ダクト 暗幕用カーテンレール	
	1	127	実験室	実験室	<ul style="list-style-type: none"> 必要な配電設備: (1)実験用三相200V 60A×4 (2)実験用三相100V 60A×3 (3)実験用直流100V 60A×3 	暗幕用カーテンレール	

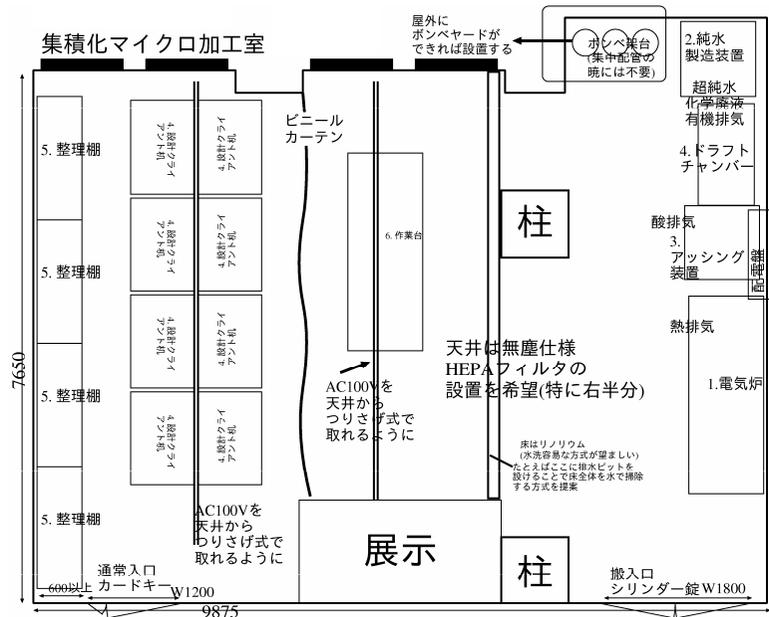
【別表2】各室(エリア)の特殊条件

区分	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考
電気系	1	128	研究室				
	1	129	実験室	集積化マイクロ測定室	<ul style="list-style-type: none"> ・半導体集積回路、光回路の特性測定半導体集積システムの動作測定半田付けを含む電子工作 ・光学測定やプローブステーションのための防振台を駆動するための圧縮空気を使用する。 ・測定機器が多数あり、それぞれが2kW級の電力を消費するので、個別ブレーカーにつながったコンセントを天井に設置する。 ・電源配線は床を這わせない構造にしたいので、レールラックを天井に設置する。 (参考:工学部10号館490号室、新2号館12Fのグリッド天井) <ul style="list-style-type: none"> ・産業医の巡視によると、半田付けスペースには換気が必須であるので、換気用のフードを設置する。 ・圧縮空気:光学測定やプローブステーションのための防振台を駆動するための圧縮空気が必要。 ・器具洗いのため給湯を設ける 	排気フード用ダクト 給湯用電源 暗幕用カーテンレール	

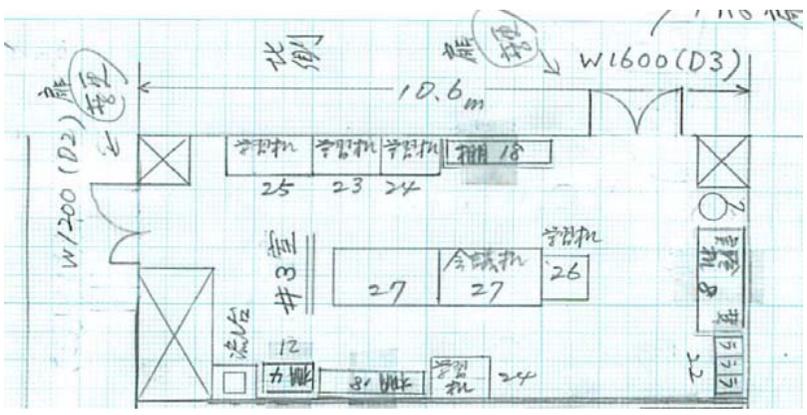


【別表2】各室(エリア)の特殊条件

区分	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考
電気系	1	130	実験室	集積化マイクロ加工室	<p>・武田先端知クリーンルームで共用できない個別のMEMS加工を行う部屋。簡単なウェットプロセスや電気炉を備える予定。ホコリを極端に嫌うデバイスの加工を行う。</p> <p>・電源:個別ブレーカーとして、3Φ200V50A を2系統以上装備すること。主幹は100A以上であること。(電気炉(200V50Aのブレーカー有り)を導入予定。)</p> <p>・簡単なウェットプロセスのためドラフトチャンバーを装備する。</p> <p>・部屋はセミクリーン仕様とする。(発塵の無い「クリーン塗装」天井とHEPAフィルタ付空調吹き出し口。(柏キャンパス基盤棟7B2と同等))</p> <p>・簡易クリーン設備:武田先端知クリーンルームで微細加工を行ったマイクロチップを扱うため、セミクリーン環境を必要とする。特に、防塵壁、天井は必須で空気はHEPAフィルタとする。温度管理は一般的で良い。</p> <p>・冷却水:水質劣化防止による装置の老朽化を防ぐため、室外機は密閉型冷却塔を用いる。</p> <p>・コンセント:天井にレールを設置し、吊り下げ式のコンセントを1メートルおきに設置すること。</p>	都市ガス設備 冷却水設備用配管 カーテンレール	
	1	131	研究室				



【別表2】各室(エリア)の特殊条件

区分	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考
電気系	1	135	実験室	実験室	<p>・必要な配電設備:(1)実験用三相200V 60A×2 (2)実験用三相(单相でもよい)100V 30A×4 (3)実験用直流100V 60A×2</p> 	暗幕用カーテンレール	

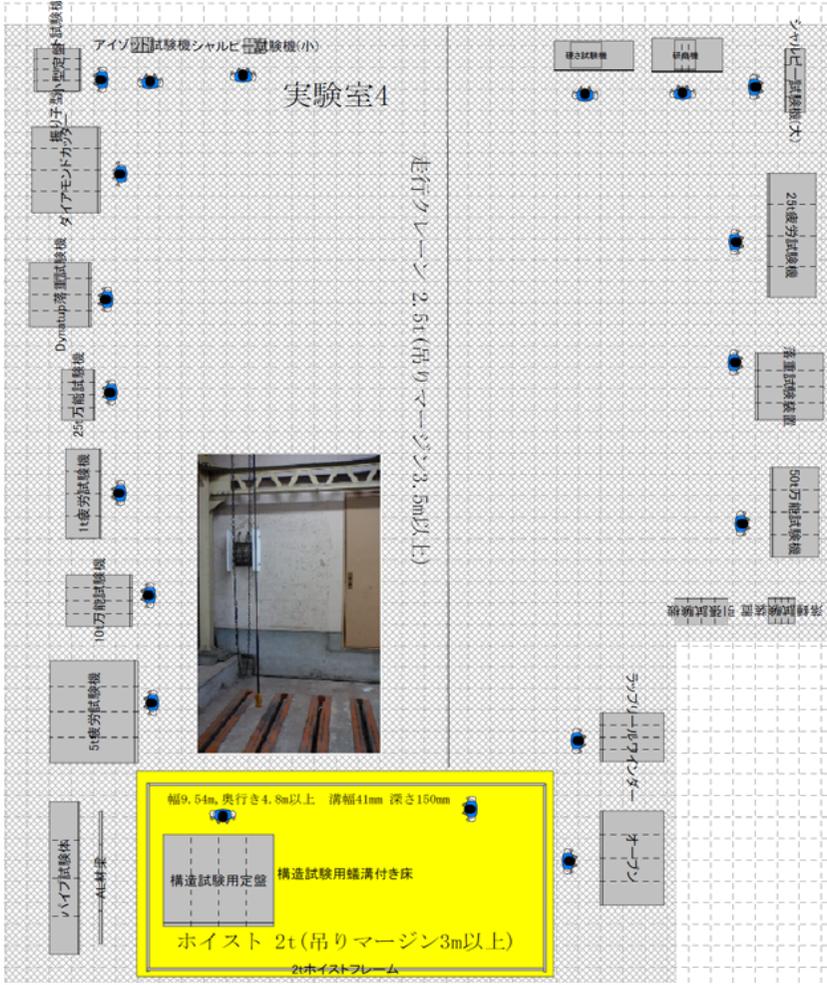
【別表2】各室(エリア)の特殊条件

	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考
創成系	B1F	1102	E 実験室(3)	実験室(試料処理)	<ul style="list-style-type: none"> 装置冷却のため、冷却水設備を設ける。(別途工事) Re-Os同位体分析の前準備として、ガラスチューブ封入作業を行う必要があるため、都市ガス設備を設置する。 Re-Os同位体分析の前準備として、ガラスチューブ封入作業を行う必要があるため、酸素ポンペを設置する。(備品工事) エアガン使用のため、圧縮空気ポンペを設置する。(備品工事) 高圧実験のため、炭酸ガスポンペを設置する。(備品工事) 実験室備品と電源設備は、【別表3】参照。 	都市ガス設備 冷却水設備用配管 排気フード用ダクト	
	B1F	1103	E 小実験室(1)		<ul style="list-style-type: none"> 将来的使用のため、冷却水、都市ガス、圧縮空気ポンペの設置対応を行う。 電源設備については、1102室相当の容量とする。 	都市ガス設備 冷却水設備用配管 排気フード用ダクト	
	B1F	1104	P 中実験室(1)		<ul style="list-style-type: none"> 将来的使用のため、冷却水、都市ガス、圧縮空気ポンペの設置対応を行う。 電源設備については、1102室相当の容量とする。 	都市ガス設備 冷却水設備用配管 排気フード用ダクト	
	B1F	1105	P 小実験室(1)		<ul style="list-style-type: none"> 電源設備については、1102室相当の容量とする。 		
	B1F	1106	P 小実験室(2)		<ul style="list-style-type: none"> 電源設備については、1102室相当の容量とする。 		
	B1F	1107	P 中実験室(2)		<ul style="list-style-type: none"> 電源設備については、1102室相当の容量とする。 		
	B1F	1109	実験室(5)	プロジェクト演習実験室	<ul style="list-style-type: none"> 学生実験室として使用 サーバーを6台設置するが、サーバーラックは備品工事にて設置する。 		

【別表2】各室(エリア)の特殊条件

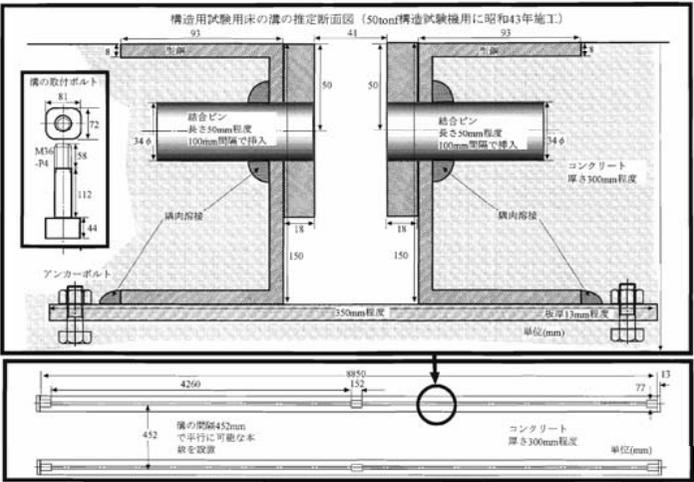
階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件										事業者が整備する備品等	備考
				機器名	型名	重量 (kgf)	サイズ W×D×H	メーカー	所要電気容量			備考 (所轄先生)			
				相	V(V)	I(A)	P(W)								
創 成 系				ローランドDG MODELA Pro	MDX-500	247	1000*1000*1750	ローランド DG	単	100	8	800	PSI		
				ボール盤	YBD-420	80	500*800*1630	吉田鉄工	三	200	4.2	750	E3		
				コンターマシン	U-300	180	800*500*1300	ラッカー	三 単	200 200	3.75 10	750 2000	E3		
				ベルトサンダー	BDS-1000	22	640*470*1220	リョービ	単	100	5.2	520	E3		
				大型定盤(3×1.5m)	なし	3200	3000*1500*760	目良昇鉄工	/	/	/	/	PSI		
				分散型PC 50台/サーバー6台	R-70-6014H32 他	806.4	1200*800*2200	サードウェーブ	単	100	300	30000			

【別表2】各室(エリア)の特殊条件

階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考
B1F	1110	実験室(4)	大型試験実験室	<p>・大型の試験体を用いて材料実験等を行う。 ・走行クレーンにて試験体を構造試験用蟻溝付き床まで搬送し、試験体を床に固定して、破壊試験などを行う。</p>  <p>実験室4</p> <p>走行クレーン 2.5t(吊りマージン3.5m以上)</p> <p>幅9.54m 奥行き4.8m以上 溝幅41mm 深さ150mm</p> <p>構造試験用定盤 構造試験用蟻溝付き床</p> <p>ホイスト 2t(吊りマージン3m以上)</p> <p>2tホイストフレーム</p>		

創成系

【別表2】各室(エリア)の特殊条件

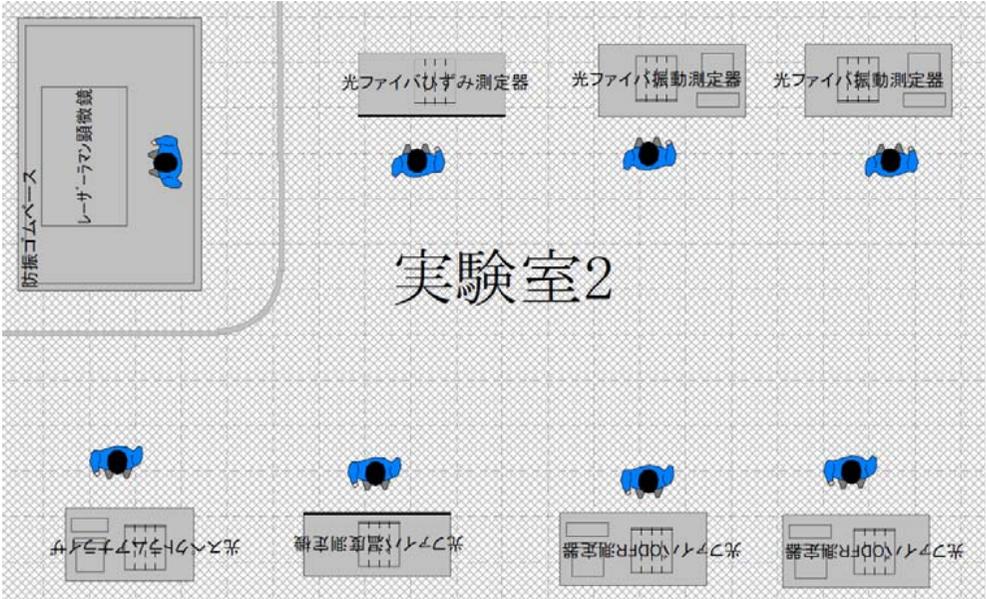
階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考																																																																																																																																																																																																																																																								
創成系				<p>・構造物試験用蟻溝付き床の仕様は下記の通りとする。</p> 	<p>ホイストクレーン(別途工事)用レール鉄骨 構造物試験用蟻溝付き床</p>																																																																																																																																																																																																																																																									
				<p>・実験機器の基礎は、実験中の加圧等を考慮して、耐荷重を見込むこと。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機器名</th> <th rowspan="2">型名</th> <th rowspan="2">重量 (kgf)</th> <th rowspan="2">サイズ W×D×H</th> <th rowspan="2">メーカー</th> <th colspan="3">所要電容量</th> <th rowspan="2">備考 (所轄先生)</th> </tr> <tr> <th>相</th> <th>V(V)</th> <th>I(A)</th> <th>P(W)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ダイヤモンドカッター</td> <td>AC-500CF</td> <td>800</td> <td>2010*1550*1100</td> <td>丸東製作所</td> <td>三</td> <td>200</td> <td>20</td> <td>4000</td> <td>籠装研/鶴沢先生</td> </tr> <tr> <td>ラップリールワインダー</td> <td>PK-9070</td> <td>500</td> <td>1150*1450*1600</td> <td>西田工業</td> <td>三</td> <td>200</td> <td>15</td> <td>3000</td> <td>NEDO/高橋先生</td> </tr> <tr> <td>構造試験用定盤</td> <td>特注品</td> <td>4000</td> <td>2500*2140*400</td> <td>五十嵐工業</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>鈴木(英)先生</td> </tr> <tr> <td>オープン</td> <td>TSK-31LB</td> <td>300</td> <td>2200*1450*2030</td> <td>竹編製作所</td> <td>三</td> <td>200</td> <td>39</td> <td>7800</td> <td>籠装研/鶴沢先生</td> </tr> <tr> <td>落重試験装置</td> <td>DW-3000</td> <td>1500</td> <td>1550*1550*4150</td> <td>ムソー/GSE</td> <td>三</td> <td>200</td> <td>15</td> <td>3000</td> <td>材料研/栗飯原先生</td> </tr> <tr> <td>パイプ試験体</td> <td>なし</td> <td>445</td> <td>3550*680*300</td> <td>ムソー</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>材料研/栗飯原先生</td> </tr> <tr> <td>AL材梁</td> <td>なし</td> <td>30</td> <td>3100*70*220</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>材料研/栗飯原先生</td> </tr> <tr> <td>50t万能試験機</td> <td>UH-500kNI</td> <td>1775</td> <td>2100*1100*2200</td> <td>島津</td> <td>三</td> <td>200</td> <td>20</td> <td>4000</td> <td>材料研/栗飯原先生</td> </tr> <tr> <td>硬さ試験機</td> <td>HMV-2000</td> <td>6</td> <td>700*600*600</td> <td>島津</td> <td>単</td> <td>100</td> <td>5</td> <td>500</td> <td>材料研/栗飯原先生</td> </tr> <tr> <td>Dynatup 落重試験機</td> <td>9250HV</td> <td>404</td> <td>1500*1400*2900</td> <td>Instron</td> <td>単</td> <td>100</td> <td>8</td> <td>800</td> <td>材料研/高橋先生</td> </tr> <tr> <td>1t疲労試験機</td> <td>8871</td> <td>260</td> <td>2100*800*2650</td> <td>Instron</td> <td>単</td> <td>100</td> <td>15</td> <td>1500</td> <td>材料研/高橋先生</td> </tr> <tr> <td>10t万能試験機</td> <td>DSC-10T</td> <td>2000</td> <td>1200*1500*2650</td> <td>島津</td> <td>単</td> <td>200</td> <td>30</td> <td>6000</td> <td>籠装研/鶴沢先生</td> </tr> <tr> <td>5t疲労試験機</td> <td>EHF-UBS-20L</td> <td>2000</td> <td>2400*2000*1850</td> <td>島津</td> <td>三</td> <td>200</td> <td>60</td> <td>12000</td> <td>籠装研/鶴沢先生</td> </tr> <tr> <td>アイソット試験機</td> <td></td> <td>100</td> <td>490*350*900</td> <td>東洋精機</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>籠装研/鶴沢先生</td> </tr> <tr> <td>シャルピー試験機</td> <td></td> <td>100</td> <td>490*350*900</td> <td>東洋精機</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>籠装研/鶴沢先生</td> </tr> <tr> <td>引張試験機</td> <td></td> <td>1000</td> <td>1200*640*1680</td> <td>米倉製作所</td> <td>単</td> <td>100</td> <td>15</td> <td>1500</td> <td>籠装研/鶴沢先生</td> </tr> <tr> <td>落重試験装置</td> <td></td> <td>500</td> <td>600*600*2660</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>籠装研/鶴沢先生</td> </tr> <tr> <td>シャルピー試験機</td> <td>30kgF-m</td> <td>290</td> <td>1500*460*1400</td> <td>東京衡機</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>材料研/栗飯原先生</td> </tr> <tr> <td>小型定盤(1×1m)</td> <td>なし</td> <td>590</td> <td>1000*1000*750</td> <td>目良昇鉄工</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>籠装研/鶴沢先生</td> </tr> <tr> <td>振り子型アイソット試験機</td> <td>POE2000e</td> <td>88</td> <td>1000*1000*1750</td> <td>インストロン</td> <td>単</td> <td>100</td> <td>8</td> <td>800</td> <td>NEDO/高橋先生</td> </tr> <tr> <td>研磨機</td> <td>FORCIPOL300-1V</td> <td>37</td> <td>400*720*350</td> <td>METKON</td> <td>単</td> <td>100</td> <td>5.75</td> <td>575</td> <td>材料研/栗飯原先生</td> </tr> <tr> <td>25t疲労試験機</td> <td>1332</td> <td>2650</td> <td>2900*1100*3400</td> <td>Instron</td> <td>三</td> <td>200</td> <td>40</td> <td>8000</td> <td>材料研/栗飯原先生</td> </tr> <tr> <td>万能試験機オートグラフ</td> <td>AG-250kN</td> <td>1400</td> <td>1186*752*2414</td> <td>島津</td> <td>三</td> <td>200</td> <td>37.5</td> <td>7500</td> <td>H22導入予定</td> </tr> <tr> <td>走行クレーン(新規)</td> <td>2.5ton</td> <td></td> <td>走行長 m</td> <td></td> <td>三</td> <td>200</td> <td>30</td> <td>6000</td> <td>吊りマージン3.5m以上</td> </tr> </tbody> </table>			機器名	型名	重量 (kgf)	サイズ W×D×H	メーカー	所要電容量			備考 (所轄先生)	相	V(V)	I(A)	P(W)	ダイヤモンドカッター	AC-500CF	800	2010*1550*1100	丸東製作所	三	200	20	4000	籠装研/鶴沢先生	ラップリールワインダー	PK-9070	500	1150*1450*1600	西田工業	三	200	15	3000	NEDO/高橋先生	構造試験用定盤	特注品	4000	2500*2140*400	五十嵐工業					鈴木(英)先生	オープン	TSK-31LB	300	2200*1450*2030	竹編製作所	三	200	39	7800	籠装研/鶴沢先生	落重試験装置	DW-3000	1500	1550*1550*4150	ムソー/GSE	三	200	15	3000	材料研/栗飯原先生	パイプ試験体	なし	445	3550*680*300	ムソー					材料研/栗飯原先生	AL材梁	なし	30	3100*70*220						材料研/栗飯原先生	50t万能試験機	UH-500kNI	1775	2100*1100*2200	島津	三	200	20	4000	材料研/栗飯原先生	硬さ試験機	HMV-2000	6	700*600*600	島津	単	100	5	500	材料研/栗飯原先生	Dynatup 落重試験機	9250HV	404	1500*1400*2900	Instron	単	100	8	800	材料研/高橋先生	1t疲労試験機	8871	260	2100*800*2650	Instron	単	100	15	1500	材料研/高橋先生	10t万能試験機	DSC-10T	2000	1200*1500*2650	島津	単	200	30	6000	籠装研/鶴沢先生	5t疲労試験機	EHF-UBS-20L	2000	2400*2000*1850	島津	三	200	60	12000	籠装研/鶴沢先生	アイソット試験機		100	490*350*900	東洋精機					籠装研/鶴沢先生	シャルピー試験機		100	490*350*900	東洋精機					籠装研/鶴沢先生	引張試験機		1000	1200*640*1680	米倉製作所	単	100	15	1500	籠装研/鶴沢先生	落重試験装置		500	600*600*2660						籠装研/鶴沢先生	シャルピー試験機	30kgF-m	290	1500*460*1400	東京衡機					材料研/栗飯原先生	小型定盤(1×1m)	なし	590	1000*1000*750	目良昇鉄工					籠装研/鶴沢先生	振り子型アイソット試験機	POE2000e	88	1000*1000*1750	インストロン	単	100	8	800	NEDO/高橋先生	研磨機	FORCIPOL300-1V	37	400*720*350	METKON	単	100	5.75	575	材料研/栗飯原先生	25t疲労試験機	1332	2650	2900*1100*3400	Instron	三	200	40	8000	材料研/栗飯原先生	万能試験機オートグラフ	AG-250kN	1400	1186*752*2414	島津	三	200	37.5	7500	H22導入予定	走行クレーン(新規)	2.5ton		走行長 m	
機器名	型名	重量 (kgf)	サイズ W×D×H	メーカー	所要電容量							備考 (所轄先生)																																																																																																																																																																																																																																																		
					相	V(V)	I(A)	P(W)																																																																																																																																																																																																																																																						
ダイヤモンドカッター	AC-500CF	800	2010*1550*1100	丸東製作所	三	200	20	4000	籠装研/鶴沢先生																																																																																																																																																																																																																																																					
ラップリールワインダー	PK-9070	500	1150*1450*1600	西田工業	三	200	15	3000	NEDO/高橋先生																																																																																																																																																																																																																																																					
構造試験用定盤	特注品	4000	2500*2140*400	五十嵐工業					鈴木(英)先生																																																																																																																																																																																																																																																					
オープン	TSK-31LB	300	2200*1450*2030	竹編製作所	三	200	39	7800	籠装研/鶴沢先生																																																																																																																																																																																																																																																					
落重試験装置	DW-3000	1500	1550*1550*4150	ムソー/GSE	三	200	15	3000	材料研/栗飯原先生																																																																																																																																																																																																																																																					
パイプ試験体	なし	445	3550*680*300	ムソー					材料研/栗飯原先生																																																																																																																																																																																																																																																					
AL材梁	なし	30	3100*70*220						材料研/栗飯原先生																																																																																																																																																																																																																																																					
50t万能試験機	UH-500kNI	1775	2100*1100*2200	島津	三	200	20	4000	材料研/栗飯原先生																																																																																																																																																																																																																																																					
硬さ試験機	HMV-2000	6	700*600*600	島津	単	100	5	500	材料研/栗飯原先生																																																																																																																																																																																																																																																					
Dynatup 落重試験機	9250HV	404	1500*1400*2900	Instron	単	100	8	800	材料研/高橋先生																																																																																																																																																																																																																																																					
1t疲労試験機	8871	260	2100*800*2650	Instron	単	100	15	1500	材料研/高橋先生																																																																																																																																																																																																																																																					
10t万能試験機	DSC-10T	2000	1200*1500*2650	島津	単	200	30	6000	籠装研/鶴沢先生																																																																																																																																																																																																																																																					
5t疲労試験機	EHF-UBS-20L	2000	2400*2000*1850	島津	三	200	60	12000	籠装研/鶴沢先生																																																																																																																																																																																																																																																					
アイソット試験機		100	490*350*900	東洋精機					籠装研/鶴沢先生																																																																																																																																																																																																																																																					
シャルピー試験機		100	490*350*900	東洋精機					籠装研/鶴沢先生																																																																																																																																																																																																																																																					
引張試験機		1000	1200*640*1680	米倉製作所	単	100	15	1500	籠装研/鶴沢先生																																																																																																																																																																																																																																																					
落重試験装置		500	600*600*2660						籠装研/鶴沢先生																																																																																																																																																																																																																																																					
シャルピー試験機	30kgF-m	290	1500*460*1400	東京衡機					材料研/栗飯原先生																																																																																																																																																																																																																																																					
小型定盤(1×1m)	なし	590	1000*1000*750	目良昇鉄工					籠装研/鶴沢先生																																																																																																																																																																																																																																																					
振り子型アイソット試験機	POE2000e	88	1000*1000*1750	インストロン	単	100	8	800	NEDO/高橋先生																																																																																																																																																																																																																																																					
研磨機	FORCIPOL300-1V	37	400*720*350	METKON	単	100	5.75	575	材料研/栗飯原先生																																																																																																																																																																																																																																																					
25t疲労試験機	1332	2650	2900*1100*3400	Instron	三	200	40	8000	材料研/栗飯原先生																																																																																																																																																																																																																																																					
万能試験機オートグラフ	AG-250kN	1400	1186*752*2414	島津	三	200	37.5	7500	H22導入予定																																																																																																																																																																																																																																																					
走行クレーン(新規)	2.5ton		走行長 m		三	200	30	6000	吊りマージン3.5m以上																																																																																																																																																																																																																																																					

【別表2】各室(エリア)の特殊条件

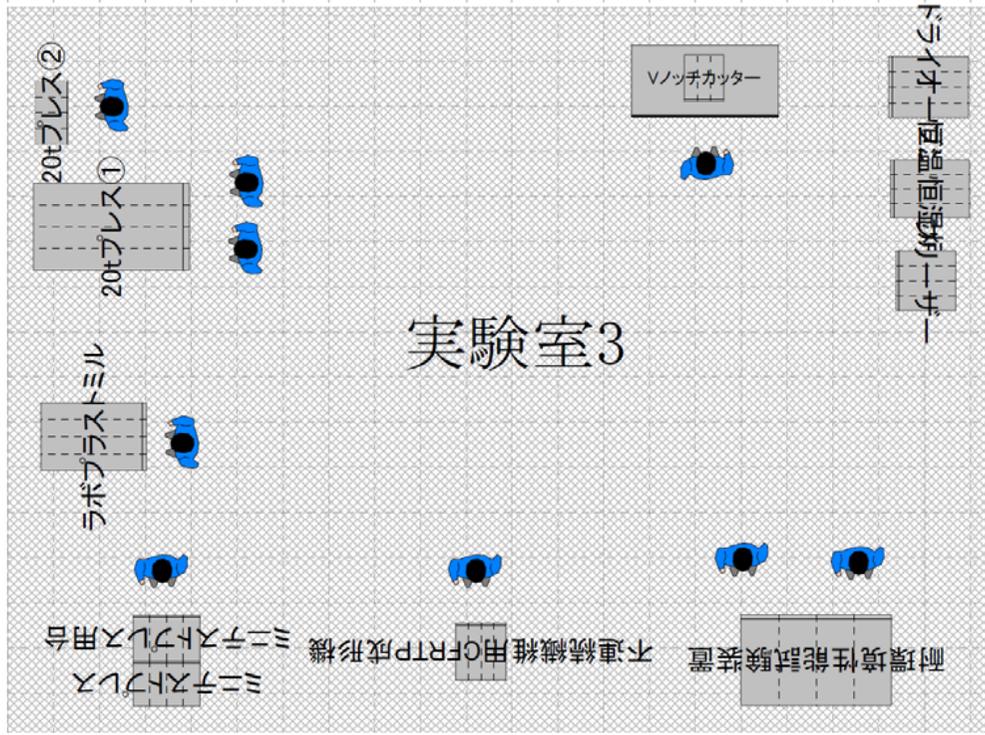
階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考																																																																																																								
B1F	1111	実験室(1)	観察実験室	<div style="text-align: center;"> <p>実験室 1</p> </div> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機器名</th> <th rowspan="2">型名</th> <th rowspan="2">重量 (kgf)</th> <th>サイズ</th> <th rowspan="2">メーカー</th> <th colspan="3">所要電力量</th> <th rowspan="2">備考 (所轄先生)</th> </tr> <tr> <th>W×D×H</th> <th>相</th> <th>V(V)</th> <th>I(A)</th> <th>P(W)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レーザー顕微鏡</td> <td>VK-8510</td> <td>36</td> <td>1300*450*500</td> <td>キーエンス</td> <td>単</td> <td>100</td> <td>9</td> <td>900</td> <td>材料研/粟飯原先生</td> </tr> <tr> <td>実体顕微鏡</td> <td>BX51M</td> <td>19.5</td> <td>500*420*570</td> <td>オリンパス</td> <td>単</td> <td>100</td> <td>2.6</td> <td>260</td> <td>材料研/粟飯原先生</td> </tr> <tr> <td>走査型電子顕微鏡</td> <td>VE8800</td> <td>150</td> <td>1200*900*1120</td> <td>キーエンス</td> <td>単</td> <td>100</td> <td>20</td> <td>2000</td> <td>材料研/粟飯原先生</td> </tr> <tr> <td>直示天秤</td> <td>TYPE L2</td> <td>20</td> <td>370*380*490</td> <td>島津</td> <td>単</td> <td>100</td> <td>0.5</td> <td>50</td> <td>醸装研/鶴沢先生</td> </tr> <tr> <td>超音波探傷機</td> <td>C-Scan</td> <td>40</td> <td>800*900*950</td> <td>NTD</td> <td>単</td> <td>100</td> <td>6</td> <td>600</td> <td>醸装研/鶴沢先生</td> </tr> <tr> <td>ドロップレット試験装置</td> <td>Model HM410</td> <td>50</td> <td>1400*660*900</td> <td>東栄産業</td> <td>単</td> <td>100</td> <td>15</td> <td>1500</td> <td>H21導入予定</td> </tr> <tr> <td>小型卓上試験機</td> <td>AGS-1kN</td> <td>90</td> <td>653*520*1853</td> <td>島津</td> <td>単</td> <td>100</td> <td>12</td> <td>1200</td> <td>H21導入予定</td> </tr> <tr> <td>高速度カメラ+光源2台</td> <td>FASTCAM SA5</td> <td>27.6</td> <td>900*370*250</td> <td>フォトロン</td> <td>単</td> <td>100</td> <td>8.5</td> <td>850</td> <td>H22導入予定</td> </tr> <tr> <td>立体視顕微鏡</td> <td>VHX-1000</td> <td>21.9</td> <td>420*700*416</td> <td>キーエンス</td> <td>単</td> <td>100</td> <td>3.4</td> <td>340</td> <td>H22導入予定</td> </tr> </tbody> </table>	機器名	型名	重量 (kgf)	サイズ	メーカー	所要電力量			備考 (所轄先生)	W×D×H	相	V(V)	I(A)	P(W)	レーザー顕微鏡	VK-8510	36	1300*450*500	キーエンス	単	100	9	900	材料研/粟飯原先生	実体顕微鏡	BX51M	19.5	500*420*570	オリンパス	単	100	2.6	260	材料研/粟飯原先生	走査型電子顕微鏡	VE8800	150	1200*900*1120	キーエンス	単	100	20	2000	材料研/粟飯原先生	直示天秤	TYPE L2	20	370*380*490	島津	単	100	0.5	50	醸装研/鶴沢先生	超音波探傷機	C-Scan	40	800*900*950	NTD	単	100	6	600	醸装研/鶴沢先生	ドロップレット試験装置	Model HM410	50	1400*660*900	東栄産業	単	100	15	1500	H21導入予定	小型卓上試験機	AGS-1kN	90	653*520*1853	島津	単	100	12	1200	H21導入予定	高速度カメラ+光源2台	FASTCAM SA5	27.6	900*370*250	フォトロン	単	100	8.5	850	H22導入予定	立体視顕微鏡	VHX-1000	21.9	420*700*416	キーエンス	単	100	3.4	340	H22導入予定		
機器名	型名	重量 (kgf)	サイズ	メーカー				所要電力量			備考 (所轄先生)																																																																																																			
			W×D×H		相	V(V)	I(A)	P(W)																																																																																																						
レーザー顕微鏡	VK-8510	36	1300*450*500	キーエンス	単	100	9	900	材料研/粟飯原先生																																																																																																					
実体顕微鏡	BX51M	19.5	500*420*570	オリンパス	単	100	2.6	260	材料研/粟飯原先生																																																																																																					
走査型電子顕微鏡	VE8800	150	1200*900*1120	キーエンス	単	100	20	2000	材料研/粟飯原先生																																																																																																					
直示天秤	TYPE L2	20	370*380*490	島津	単	100	0.5	50	醸装研/鶴沢先生																																																																																																					
超音波探傷機	C-Scan	40	800*900*950	NTD	単	100	6	600	醸装研/鶴沢先生																																																																																																					
ドロップレット試験装置	Model HM410	50	1400*660*900	東栄産業	単	100	15	1500	H21導入予定																																																																																																					
小型卓上試験機	AGS-1kN	90	653*520*1853	島津	単	100	12	1200	H21導入予定																																																																																																					
高速度カメラ+光源2台	FASTCAM SA5	27.6	900*370*250	フォトロン	単	100	8.5	850	H22導入予定																																																																																																					
立体視顕微鏡	VHX-1000	21.9	420*700*416	キーエンス	単	100	3.4	340	H22導入予定																																																																																																					

創成系

【別表2】各室(エリア)の特殊条件

階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考																																																																				
創 成 系	B1F 1112	実験室(2)	光ファイバー計測実験室	<p>・計測時に暗くするため、内装は黒色とし、レーザーラマン顕微鏡の周囲には暗幕を設置する。 ・振動を嫌う実験を行うため、床を厚くするとともに、仕上げ材はゴムタイルとし、防振対策を行うこと。</p>  <p style="text-align: center; font-size: 2em;">実験室2</p>	暗幕用カーテンレール																																																																					
				<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機器名</th> <th rowspan="2">型名</th> <th rowspan="2">重量 (kgf)</th> <th>サイズ</th> <th rowspan="2">メーカー</th> <th colspan="3">所要電気容量</th> <th rowspan="2">備考 (所轄先生)</th> </tr> <tr> <th>W×D×H</th> <th>相</th> <th>V(V)</th> <th>I(A)</th> <th>P(W)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>光ファイバひずみ測定器</td> <td>AQ8603</td> <td>20</td> <td>445*495*249</td> <td>YOKOGAWA</td> <td>単</td> <td>100</td> <td>2</td> <td>200</td> <td>籾装研/村山先生</td> </tr> <tr> <td>光スペクトラムアナライザ</td> <td>MS9710</td> <td>16.5</td> <td>320*350*117</td> <td>ANRITSU</td> <td>単</td> <td>100</td> <td>2</td> <td>200</td> <td>籾装研/村山先生</td> </tr> <tr> <td>光ファイバ温度測定機</td> <td>FTR-070</td> <td>15</td> <td>445*495*249</td> <td>HITACHI CABLE</td> <td>単</td> <td>100</td> <td>2</td> <td>200</td> <td>籾装研/村山先生</td> </tr> <tr> <td>光ファイバVODFR測定器 ×2</td> <td>TSL-510</td> <td>6.5</td> <td>210*440*110</td> <td>SANTEC</td> <td>単</td> <td>100</td> <td>10</td> <td>1000</td> <td>籾装研/村山先生</td> </tr> <tr> <td>光ファイバ振動測定器 ×2</td> <td></td> <td>20</td> <td>445*495*249</td> <td>LAZOC</td> <td>単</td> <td>100</td> <td>10</td> <td>1000</td> <td>籾装研/村山先生</td> </tr> <tr> <td>レーザーラマン顕微鏡</td> <td>inVia Raman</td> <td>450</td> <td>1526*930*1200</td> <td>RENISHAW(島津)</td> <td>単</td> <td>100</td> <td>15</td> <td>1500</td> <td>H21導入予定</td> </tr> </tbody> </table>			機器名	型名	重量 (kgf)	サイズ	メーカー	所要電気容量			備考 (所轄先生)	W×D×H	相	V(V)	I(A)	P(W)	光ファイバひずみ測定器	AQ8603	20	445*495*249	YOKOGAWA	単	100	2	200	籾装研/村山先生	光スペクトラムアナライザ	MS9710	16.5	320*350*117	ANRITSU	単	100	2	200	籾装研/村山先生	光ファイバ温度測定機	FTR-070	15	445*495*249	HITACHI CABLE	単	100	2	200	籾装研/村山先生	光ファイバVODFR測定器 ×2	TSL-510	6.5	210*440*110	SANTEC	単	100	10	1000	籾装研/村山先生	光ファイバ振動測定器 ×2		20	445*495*249	LAZOC	単	100	10	1000	籾装研/村山先生	レーザーラマン顕微鏡	inVia Raman	450	1526*930*1200
機器名	型名	重量 (kgf)	サイズ	メーカー	所要電気容量					備考 (所轄先生)																																																																
			W×D×H		相	V(V)	I(A)	P(W)																																																																		
光ファイバひずみ測定器	AQ8603	20	445*495*249	YOKOGAWA	単	100	2	200	籾装研/村山先生																																																																	
光スペクトラムアナライザ	MS9710	16.5	320*350*117	ANRITSU	単	100	2	200	籾装研/村山先生																																																																	
光ファイバ温度測定機	FTR-070	15	445*495*249	HITACHI CABLE	単	100	2	200	籾装研/村山先生																																																																	
光ファイバVODFR測定器 ×2	TSL-510	6.5	210*440*110	SANTEC	単	100	10	1000	籾装研/村山先生																																																																	
光ファイバ振動測定器 ×2		20	445*495*249	LAZOC	単	100	10	1000	籾装研/村山先生																																																																	
レーザーラマン顕微鏡	inVia Raman	450	1526*930*1200	RENISHAW(島津)	単	100	15	1500	H21導入予定																																																																	

【別表2】各室(エリア)の特殊条件

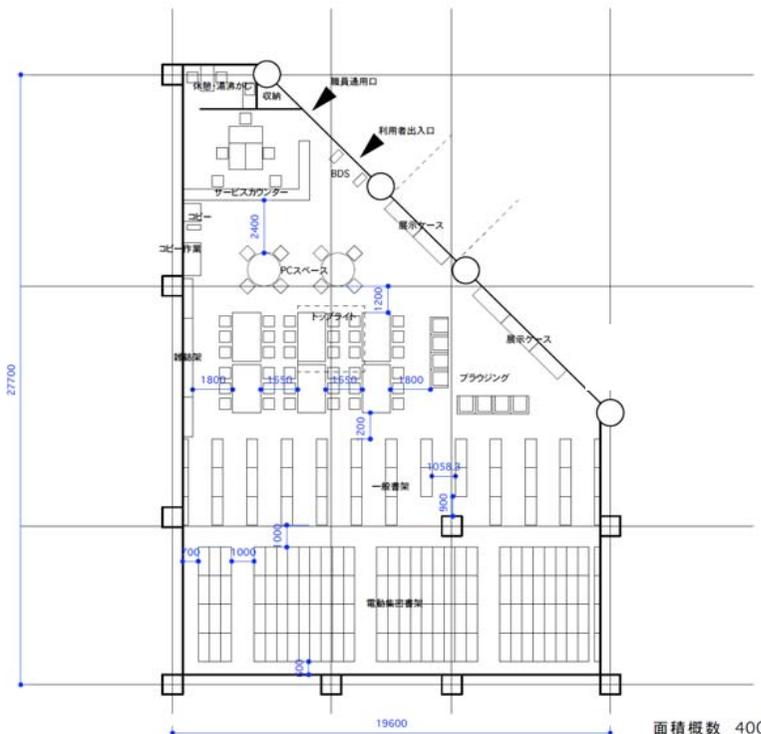
階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考																																																																																																								
B1F	1113	実験室(3)	樹脂成形実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・300°Cで加熱し、一気に冷却する実験を行うため、爆発水蒸気が発生する。 ・強力な換気が必要 ・冷却水が必要。冷却塔は備品工事とするが、150RTを想定。 ・実験機器の基礎は、実験中の加圧等を考慮して、耐荷重を見込むこと。 	換気用ダクト 冷却水設備用配管 実験機器用基礎及び固定用アンカー 固定用金具等																																																																																																									
				<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機器名</th> <th rowspan="2">型名</th> <th rowspan="2">重量 (kgf)</th> <th>サイズ</th> <th rowspan="2">メーカー</th> <th colspan="3">所要電気容量</th> <th rowspan="2">備考 (所轄先生)</th> </tr> <tr> <th>W×D×H</th> <th>相</th> <th>V(V)</th> <th>I(A)</th> <th>P(W)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ミニテストプレス</td> <td>mini TEST PRESS-1</td> <td>90</td> <td>730*500*670</td> <td>東洋精機</td> <td>単</td> <td>200</td> <td>20</td> <td>4000</td> <td>材料研/高橋先生</td> </tr> <tr> <td>20tプレス</td> <td>AWFA-20</td> <td>2800</td> <td>960*1700*1890 690*360*1700</td> <td>神藤金属工業</td> <td>三</td> <td>200</td> <td>100</td> <td>20000</td> <td>NEDO/高橋先生</td> </tr> <tr> <td>ラボプラストミル</td> <td>10C100</td> <td>50</td> <td>750*1150*1270</td> <td>東洋精機</td> <td>三 単</td> <td>200 100</td> <td>30 30</td> <td>6000 3000</td> <td>材料研/高橋先生</td> </tr> <tr> <td>フリーザー</td> <td></td> <td>50</td> <td>660*650*1200</td> <td>Whirlpool</td> <td>単</td> <td>100</td> <td>3</td> <td>300</td> <td>艦装研/鶴沢先生</td> </tr> <tr> <td>ドライオープン</td> <td>KOSUMOSU</td> <td>50</td> <td>680*870*1460</td> <td>ISUZU</td> <td>単</td> <td>100</td> <td>15</td> <td>1500</td> <td>艦装研/鶴沢先生</td> </tr> <tr> <td>Vノッチカッター</td> <td>189-PN</td> <td>50</td> <td>430*510*420</td> <td>安田精機</td> <td>単</td> <td>100</td> <td>15</td> <td>1500</td> <td>NEDO/高橋先生</td> </tr> <tr> <td>恒温恒湿炉</td> <td>λ-203R</td> <td>140</td> <td>640*860*1460</td> <td>ISUZU</td> <td>単</td> <td>100</td> <td>15</td> <td>1500</td> <td>艦装研/鶴沢先生</td> </tr> <tr> <td>不連続繊維用CFRTP成形機</td> <td>PM-1</td> <td>120</td> <td>550*630*1170</td> <td>東洋精機</td> <td>単</td> <td>100</td> <td>12</td> <td>1200</td> <td>H21導入予定</td> </tr> <tr> <td>耐環境性能試験装置</td> <td>CP100-P-100</td> <td>1000</td> <td>1640*100*1900</td> <td>A&D</td> <td>三</td> <td>200</td> <td>105</td> <td>21000</td> <td>H22導入予定</td> </tr> </tbody> </table>	機器名	型名	重量 (kgf)	サイズ	メーカー	所要電気容量			備考 (所轄先生)	W×D×H	相	V(V)	I(A)	P(W)	ミニテストプレス	mini TEST PRESS-1	90	730*500*670	東洋精機	単	200	20	4000	材料研/高橋先生	20tプレス	AWFA-20	2800	960*1700*1890 690*360*1700	神藤金属工業	三	200	100	20000	NEDO/高橋先生	ラボプラストミル	10C100	50	750*1150*1270	東洋精機	三 単	200 100	30 30	6000 3000	材料研/高橋先生	フリーザー		50	660*650*1200	Whirlpool	単	100	3	300	艦装研/鶴沢先生	ドライオープン	KOSUMOSU	50	680*870*1460	ISUZU	単	100	15	1500	艦装研/鶴沢先生	Vノッチカッター	189-PN	50	430*510*420	安田精機	単	100	15	1500	NEDO/高橋先生	恒温恒湿炉	λ-203R	140	640*860*1460	ISUZU	単	100	15	1500	艦装研/鶴沢先生	不連続繊維用CFRTP成形機	PM-1	120	550*630*1170	東洋精機	単	100	12	1200	H21導入予定	耐環境性能試験装置	CP100-P-100	1000	1640*100*1900	A&D	三	200	105	21000	H22導入予定		
機器名	型名	重量 (kgf)	サイズ	メーカー				所要電気容量			備考 (所轄先生)																																																																																																			
			W×D×H		相	V(V)	I(A)	P(W)																																																																																																						
ミニテストプレス	mini TEST PRESS-1	90	730*500*670	東洋精機	単	200	20	4000	材料研/高橋先生																																																																																																					
20tプレス	AWFA-20	2800	960*1700*1890 690*360*1700	神藤金属工業	三	200	100	20000	NEDO/高橋先生																																																																																																					
ラボプラストミル	10C100	50	750*1150*1270	東洋精機	三 単	200 100	30 30	6000 3000	材料研/高橋先生																																																																																																					
フリーザー		50	660*650*1200	Whirlpool	単	100	3	300	艦装研/鶴沢先生																																																																																																					
ドライオープン	KOSUMOSU	50	680*870*1460	ISUZU	単	100	15	1500	艦装研/鶴沢先生																																																																																																					
Vノッチカッター	189-PN	50	430*510*420	安田精機	単	100	15	1500	NEDO/高橋先生																																																																																																					
恒温恒湿炉	λ-203R	140	640*860*1460	ISUZU	単	100	15	1500	艦装研/鶴沢先生																																																																																																					
不連続繊維用CFRTP成形機	PM-1	120	550*630*1170	東洋精機	単	100	12	1200	H21導入予定																																																																																																					
耐環境性能試験装置	CP100-P-100	1000	1640*100*1900	A&D	三	200	105	21000	H22導入予定																																																																																																					

創成系

【別表2】各室(エリア)の特殊条件

階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考
創成系	132	情報交流スペース	システム創成学専攻、技術経営戦略学専攻、化学・生命系を担当する図書室として、一般書架、集密書架を設置して図書収納能力を確保する。 また、電子ジャーナル、データベースにアクセスできるPCを設置するとともに、一定数の閲覧座席を用意することにより、学生が電子媒体・紙媒体の図書資料を活用しながら学習ができる快適な環境を提供する。	(a)一般事項 6 天井高が3.5m以上必要である理由 快適かつ居心地の良い閲覧・学習環境を実現するため、ある程度天井が高いことが必要である。天井高2.7mでは圧迫感がある。 (b)建築関係 1 床仕上げ 事務スペース、学生のPC利用スペースもあるので、居室系と同様に、配線取り出しが自由にできるF2(OAフロア+タイルカーペット)とする。 床荷重は、一般書架スペースは800kg/m ² 、電動集密書架スペースは1.2t/m ² の床強度が必要である。 電動集密書架スペースは、アンカー打込みの施工しるとして、鉄筋上のコンクリート部分が50mm以上必要である。 2 壁仕上げ 高い騒音防止性能を有すること。図書閲覧、学習を行なう静かな環境を確保する必要があるが、実験室・非常用EVと近接しており騒音が心配されるため、(壁だけでなく)部屋全体として騒音対策が必要である。 3 天井仕上げ 図書閲覧、学習を行なう静かな環境を確保するため、居室系と同様に吸音性能を有するC2(ロックウール化粧吸音板程度)とする。 暖房効率を高め省エネルギーに資するため、シーリングファンを設置する。 (c)電源設備 設置予定の電動集密書架のために、単相200V、20A × 4が必要 (d)照明設備 室内照度は、図書資料閲覧のため局部照明も含めて800ルクスを確保する。 24時間開室に対応できるように、照明は人感センサー方式に切替え可能であること。 (e)扉の形状:自動ドア(ガラス)とする 理由: 扉が閉まっても、中の様子が見えて入りやすいこと 車椅子の学生も出入りしやすいこと 冷暖房の効率化 廊下の足音等の騒音防止 (h)給排水衛生設備 1 生活給排水 陶器製洗面台 必要理由: 図書資料を扱うため始終手が汚れるので、利用者・職員が図書室内で手洗いができるようにする。 ステンレス製流し台 必要理由: 事務スペースがあり昼食等もここでとるため 5 給湯設備 必要理由: 事務スペースがあり昼食等もここでとるため (i) 特殊設備等 電動集密書架、ブックディテクションシステム、自動貸出返却装置、図書返却口(ブックポスト設置に対応させて、ガラス面に設置)、防犯カメラ、防犯ベル	生活用給排水設備 給湯設備 ステンレス製流し台 洗面化粧台用給排水配管 (化粧台は備品工事)	

【別表2】各室(エリア)の特殊条件

	階 部屋 番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が 整備する備品等	備考
創 成 系				 <p>面積概数400.18㎡</p> <p>面積概数 400</p> <p>注1) 利用者出入口の位置は、中央階段下でも可能。 注2) 電動書架の配置詳細はメーカーに要確認。 注3) 寸法、面積は概数。</p> <p>電動集密書架 306連／61,200冊 一般書架 88連／15,400冊 合計 76,600冊 一般閲覧席 36席 PC席 8席 ブラウジング 8席 合計 52席</p>		

【別表2】各室(エリア)の特殊条件

	階	部屋 番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が 整備する備品等	備考
創 成 系	1	133	E 中研究室	研究室			
	1	134	E 小研究室	研究室			

【別表2】各室(エリア)の特殊条件

	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が 整備する備品等	備考
創 成 系	2	201	P 小研究室(1)	研究室			
	2	202	欠番				
	2	203	P 小研究室(3)	研究室			
	2	204	欠番				
	2	205	P 小研究室(5)	研究室			
	2	206	P 小研究室(6)	研究室			
	2	208	T 中研究室(1)	研究室			
	2	209	T 小研究室(1)	研究室			
	2	210	T 小研究室(2)	研究室			
	2	211	P 事務室	教務室			
	2	212	P 応接室	教務用応接室			
	2	214	T 中研究室(2)	研究室			
	2	215	T 中研究室(3)	研究室			
	2	216	T 小研究室(4)	研究室			
2	217	T 小研究室(5)	研究室				

【別表2】各室(エリア)の特殊条件

	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考
創 成 系	2	218	T 小研究室(6)	研究室			
	2	219	T 小研究室(7)	研究室			
	2	220	T 小研究室(8)	研究室			
	2	221	T 小研究室(9)	研究室			
	2	223	T 中研究室(4)	研究室			
	2	224	T 中研究室(5)	研究室			
	2	225	T 中研究室(6)	研究室			
	2	226	T セミナー室B	セミナー室		白板	
	2	227	T 中研究室(7)	研究室			
	2	228	社会連携プラザ	会議室		白板、スクリーンボックス、暗幕用カーテンレール、天井吊りプロジェクター用固定金物	
2	229	T 小研究室(3)	研究室				

【別表2】各室(エリア)の特殊条件

	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が 整備する備品等	備考
創 成 系	3	301	P 小研究室(1)	研究室			
	3	302	P 小研究室(2)	研究室			
	3	303	P 小研究室(3)	研究室			
	3	304	P 小研究室(4)	研究室			
	3	305	P 小研究室(5)	研究室			
	3	306	P 小研究室(6)	研究室			
	3	307	P 大会議室	会議室		白板、スクリーンボックス、暗幕用カーテンレール、天井吊りプロジェクター用固定金物	
	3	308	P 中研究室(1)	研究室			
	3	309	P 小研究室(7)	研究室			
	3	310	P PJルーム(1)	プロジェクトルーム			
	3	311	P PJルーム(2)	プロジェクトルーム			
	3	312	P PJルーム(3)	プロジェクトルーム			
	3	313	セミナー室(1)	セミナー室			
	3	314	P PJルーム(4)	プロジェクトルーム			
3	315	P PJルーム(5)	プロジェクトルーム				

【別表2】各室(エリア)の特殊条件

	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考
創 成 系	3	316	P PJルーム(6)	プロジェクトルーム			
	3	317	P 小研究室(8)	研究室			
	3	318	P 中研究室(2)	研究室			
	3	319	P 中講義室	講義室			
	3	320	P 大講義室	講義室		白板、スクリーンボックス、暗幕用カーテンレール、天井吊りプロジェクター用固定金物	
	3	321	P 中研究室(3)	研究室			
	3	322	欠番				
	3	323	P 中研究室(4)	研究室			
	3	324	欠番				
	3	325	P 中研究室(5)	研究室			
	3	326	欠番				
	3	327	P 小研究室(9)	研究室			
	3	328	T 小研究室(10)	研究室			
	3	329	T 小研究室(11)	研究室			
3	330	T 小研究室(12)	研究室				

【別表2】各室(エリア)の特殊条件

	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考	
創成系	3	331	P 中研究室(6)	研究室				
	3	332	P 中研究室(7)	研究室				
	3	333	P 中研究室(8)	研究室				
	3	334	T 中研究室(8)	研究室				
	3	335	T 中研究室(9)	研究室				
	3	336	T 中研究室(10)	研究室				
	3	337	T 中研究室(11)	研究室				
	3	338	T 中研究室(12)	研究室				
	3	339	T セミナー室C	セミナー室			白板	
	3	340	セミナー室大A(学生M1居室)	学生居室	・技術経営戦略学専攻の修士1年の学生のための居室。			
	3	341	講義室(ラウンジ形式)	講義室	・丸テーブルを配置し、グループ単位での講義を行う。	天井吊りプロジェクター 用固定金物 カーテンボックス 白板		
	3	342	交流スペース	交流スペース	・学生と教員の語らいの場として、飲食を伴う活動を行う。そのために生活用給排水及び調理可能な設備が近くに必要(ラウンジ、給湯室近辺)。 ・廊下との出入り口扉を設けずに、オープンな入退室が可能な部屋とする。			
	3	343	T 大講義室	講義室		天井吊りプロジェクター 用固定金物 カーテンボックス 白板		

【別表2】各室(エリア)の特殊条件

	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考
創成系	4	401	E PJルーム(1)	プロジェクトルーム			
	4	402	E 小研究室(1)	研究室			
	4	403	E 小研究室(2)	研究室			
	4	404	E 小研究室(3)	研究室			
	4	405	E 小研究室(4)	研究室			
	4	406	E 小研究室(5)	研究室			
	4	407	E 大会議室	研究室		天井吊りプロジェクター 用固定金物 カーテンボックス 白板	
	4	408	E 中研究室(1)	研究室			
	4	409	E 中研究室(2)	研究室			
	4	410	E 小研究室(6)	研究室			
	4	411	E 小研究室(7)	研究室			
	4	412	E PJルーム(2)	プロジェクトルーム			
	4	413	E PJルーム(3)	プロジェクトルーム			

【別表2】各室(エリア)の特殊条件

	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考
創 成 系	4	414	E PJルーム(4)	プロジェクトルーム			
	4	415	E 大研究室	研究室			
	4	416	E 小研究室(8)	研究室			
	4	417	E 小研究室(9)	研究室			
	4	418	E 中研究室(3)	研究室			
	4	419	E 小講義室	講義室		天井吊りプロジェクター 用固定金物 カーテンボックス 白板	
	4	420	E 大講義室	講義室		天井吊りプロジェクター 用固定金物 カーテンボックス 白板	
	4	421	E 小研究室(10)	研究室			
	4	422	E 小研究室(11)	研究室			
	4	423	E 小研究室(12)	研究室			
	4	424	E 小研究室(13)	研究室			
	4	425	E 小研究室(14)	研究室			
	4	426	E 小研究室(15)	研究室			

【別表2】各室(エリア)の特殊条件

	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考
創 成 系	4	427	E 小研究室(16)	研究室			
	4	428	E 小研究室(17)	研究室			
	4	429	P 中研究室(1)	研究室			
	4	430	欠番				
	4	431	P 中研究室(2)	研究室			
	4	432	P 小研究室(1)	研究室			
	4	433	E 中研究室(4)	研究室			
	4	434	E 中研究室(5)	研究室			
	4	435	E 中研究室(6)	研究室			
	4	436	E 中研究室(7)	研究室			
	4	437	E 中研究室(8)	研究室			
	4	438	P 中研究室(3)	研究室			
	4	439	P 中研究室(4)	研究室			
4	440	P 中研究室(5)	研究室				

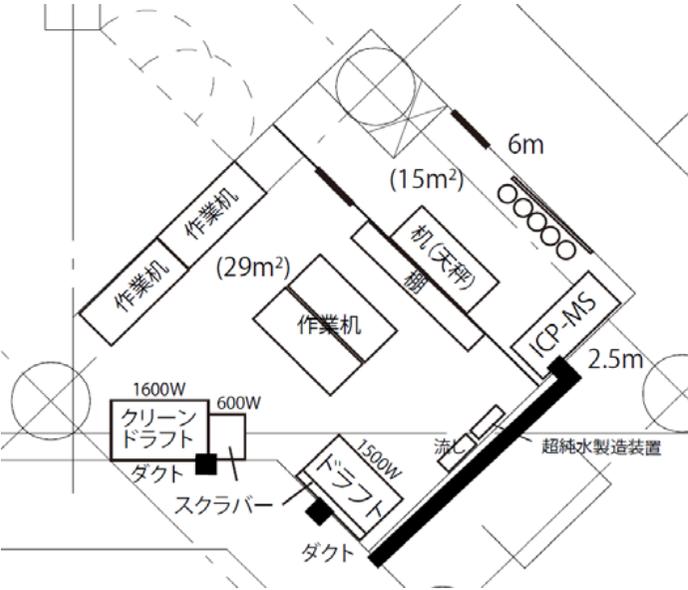
【別表2】各室(エリア)の特殊条件

	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考
創 成 系	4	441	P 小研究室(2)	研究室			
	4	442	P 小研究室(3)	研究室			
	4	443	P 小研究室(4)	研究室			
	4	444	P 小研究室(5)	研究室			
	4	445	P 小研究室(6)	研究室			
	4	446	P 小研究室(7)	研究室			
	4	447	P 中研究室(6)	研究室			
	4	448	欠番				
	4	449	P 中研究室(7)	研究室			
	4	450	P 大講義室	講義室		天井吊りプロジェクター 用固定金物 カーテンボックス 白板	

【別表2】各室(エリア)の特殊条件

	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考
創 成 系	5	522	E 小研究室(1)	研究室			
	5	523	E 小研究室(2)	研究室			
	5	524	E 小研究室(3)	研究室			
	5	529	E 中研究室(1)	研究室			
	5	530	E 中研究室(2)	研究室			
	5	531	E 中研究室(3)	研究室			
	5	532	E 小研究室(4)	研究室			
	5	533	E 小研究室(5)	研究室			
	5	534	E 小研究室(6)	研究室			
	5	535	E 実験室(1)	実験室(粉末試料作成・XRF用ビード作成など)	<ul style="list-style-type: none"> ・ビードサンプラー(500W×600D×300H)を移設。 ・マッフル炉(500W×500D×600H)を移設。 ・ビードサンプラー冷却のため、冷却水設備を必須とする。 ・高精度分析のため、超純水設備を必須とする。 ・実験室備品と電源設備は、【別表3】参照。 		

【別表2】各室(エリア)の特殊条件

	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考
創成系	5	536	Eドラフト実験室(2)	実験室(酸処理・ICP-MS測定など)	<p>・酸処理室(29m²)とICP-MS測定室(15m²)を仕切りで分割する。 ・クリーンドラフト(1600W×1000D×H2300)＋スクラパー(600W×800D×2300H)を新規設置。 ・ドラフト(1500W×1000D×2400H)を新規設置。 ・ドラフト(1800W×800D×H2200)を移設。 ・ICP-MS(1100W×600D×600H)を移設。 ・MilliQ超純水製造装置＋ELIX純水製造装置(600W×200D×1000H)を移設。 ・ICP-MS分析のため、水素、Ar、Heガス設備を必須とする。 ・装置冷却のため、冷却水設備を必須とする。 ・高精度分析のため、超純水設備を必須とする。 ・実験室備品と電源設備は、【別表3】参照。</p> 	室内間仕切り	

【別表2】各室(エリア)の特殊条件

区分	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考
化生系	5	506	大実験室	藤田研究室 実験室	夜間以降の利用人員は、12時まで、夜間と同じ人員数。 電源設備は、614室相当の容量とする。 電話・情報設備については、サーバーを設置し、公開している関係で外部との接続回線が必要。 実験室は一部を区切って学生用居室スペースとする。 都市ガス設備は、実験室において、実験手法上必要。各室1箇所。 種類は、Ar、O ₂ 、He、N ₂ 、H ₂ 、NH ₃ 、真空、圧縮空気。 器具洗いのため給湯を設ける	室内間仕切り 給湯用電源	
	5	507	欠番				
	5	508	欠番				
	5	509	実験室	研究室	実験用給排水が必要。 器具洗いのため給湯を設ける(水では落ち難い)	給湯用電源	
	5	510	ドラフト実験室		電源: 空調用 3φ200V 60A 実験用 3φ200V 200A(ドラフト用含む) 実験用 1φ200V 200A 実験用 1φ100V 400A 天井ケーブルラック(電気、ガス、水道が天井から立ち下げられること) アース線は単独アース必要 ドアは額入りとし、鉄線入ガラスによりで廊下から内部確認ができること。 壁に棚などの耐震固定が可能なナゲシ状のフレーム 高压ポンペ(7㎡、1.5㎡)の収納スペース(10本程度)		
	5	511	ドラフト実験室		電源: 空調用 3φ200V 60A 実験用 3φ200V 200A(ドラフト用含む) 実験用 1φ200V 200A 実験用 1φ100V 400A ドラフト間口 1800mm 4台 天井ケーブルラック(電気、ガス、水道が天井から立ち下げられること) アース線は単独アース必要 ドアは額入りとし、鉄線入ガラスによりで廊下から内部確認ができること。 壁に棚などの耐震固定が可能なナゲシ状のフレーム 高压ポンペ(7㎡、1.5㎡)の収納スペース(10本程度)		
5	512	化生会議室(3)			白板、スクリーンボックス、暗幕用カーテンレール、天井吊りプロジェクター用固定金物		

【別表2】各室(エリア)の特殊条件

区分	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考
化生系	5	513	ドラフト実験室		電源: 空調用 3φ200V 60A 実験用 3φ200V 200A(ドラフト用含む) 実験用 1φ200V 200A 実験用 1φ100V 400A 天井ケーブルラック(電気、ガス、水道が天井から立ち下げられること) アース線は単独アース必要 ドアは額入りとし、鉄線入ガラスによりで廊下から内部確認ができること。 壁に棚などの耐震固定が可能なナゲシ状のフレーム 高圧ポンペ(7㎡、1.5㎡)の収納スペース(10本程度)	室内間仕切り	
	5	514	ドラフト実験室		電源: 空調用 3φ200V 60A 実験用 3φ200V 200A(ドラフト用含む) 実験用 1φ200V 200A 実験用 1φ100V 400A 天井ケーブルラック(電気、ガス、水道が天井から立ち下げられること) アース線は単独アース必要 ドアは額入りとし、鉄線入ガラスによりで廊下から内部確認ができること。 壁に棚などの耐震固定が可能なナゲシ状のフレーム 高圧ポンペ(7㎡、1.5㎡)の収納スペース(10本程度)	室内間仕切り	
	5	515	教員居室	教職員居室	居室は、常時在室人数分のパソコン、レーザープリンターが2~3台、 コピー機×1台、家庭用冷蔵庫×1台程度を使用可能な電源を想定のこと。		
	5	516	小実験室	実験室	実験用給排水が必要。 器具洗いのため給湯を設ける(水では落ち難い)	給湯用電源	
	5	517	教員居室	教職員居室	手を洗ったり、来客があった際の食器を洗う為の生活用給排水を設置する。 居室は、常時在室人数分のパソコン、レーザープリンターが2~3台、 コピー機×1台、家庭用冷蔵庫×1台程度を使用可能な電源を想定のこと。		
	5	518	小実験室	実験室	実験用給排水が必要。 器具洗いのため給湯を設ける(水では落ち難い)	給湯用電源	

【別表2】各室(エリア)の特殊条件

区分	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考
化 生 系	5	519	サーバー室	サーバー室 研究室で運用されているサーバーの共用設置スペースとして機能 ※号館としての基幹ネットワーク設備の設置スペースは情報システム室管理の別室	専攻共通施設として、光ケーブルサーバー、研究室サーバーを設置。 情報設備として、サーバー類の設置台数も考慮し、情報コンセントを8回線とする。 空調は、個別空調必要。24時間運転で居室よりも低温度、低湿度が必要。消費電力500Wクラスのサーバー10台程度の発熱電源は、全体で10,000VAは必要。全体を無停電電源化できることが望ましい(1φ 100V-150A) セキュリティ管理のため、IDカードによる入退室管理が必要 手洗い程度をおこなうための生活用給排水設置 天井ケーブルラック(電気、ガス、水道が天井から立ち下げられること) ドアは額入りとし、鉄線入ガラスによりで廊下から内部確認ができること。 壁に棚などの耐震固定が可能なナゲシ状のフレーム		
	5	520	コンピューター実験室	コンピューター実験室	電源: 空調用 3φ 200V 60A 実験用 1φ 200V 50A 実験用 1φ 100V 150A コンピューター実験室 手洗い程度をおこなうための生活用給排水設置(本工事外) LAN 4回線 TEL/FAX 2回線 天井ケーブルラック(電線等が天井から立ち下げられること) ドアは額入りとし、鉄線入ガラスによりで廊下から内部確認ができること。 壁に棚などの耐震固定が可能なナゲシ状のフレーム		
	5	521	コンピューター実験室	コンピューター実験室	電源: 空調用 3φ 200V 60A 実験用 1φ 200V 50A 実験用 1φ 100V 150A コンピューター実験室 手洗い程度をおこなうための生活用給排水設置 LAN 4回線 TEL/FAX 2回線 天井ケーブルラック(電線等が天井から立ち下げられること) ドアは額入りとし、鉄線入ガラスによりで廊下から内部確認ができること。 壁に棚などの耐震固定が可能なナゲシ状のフレーム		
	5	525	ドラフト実験室		電源: 空調用 3φ 200V 60A 実験用 3φ 200V 200A(ドラフト用含む) 実験用 1φ 200V 200A 実験用 1φ 100V 400A 天井ケーブルラック(電気、ガス、水道が天井から立ち下げられること) アース線は単独アース必要 ドアは額入りとし、鉄線入ガラスによりで廊下から内部確認ができること。 壁に棚などの耐震固定が可能なナゲシ状のフレーム 高圧ボンベ(7㎡、1.5㎡)の収納スペース(10本程度)		

【別表2】各室(エリア)の特殊条件

区分	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考
化生系	5	526	ドラフト実験室	実験室(ドラフト付)	電源: 空调用 3φ200V 60A 実験用 3φ200V 200A(ドラフト用含む) 実験用 1φ200V 200A 実験用 1φ100V 400A ドラフト間口 1800mm 4台 天井ケーブルラック(電気、ガス、水道が天井から立ち下げられること) アース線は単独アース必要 ドアは額入りとし、鉄線入ガラスによりで廊下から内部確認ができること。 壁に棚などの耐震固定が可能なナゲシ状のフレーム 高压ポンベ(7㎡、1.5㎡)の収納スペース(10本程度) 器具洗いのため給湯を設ける	給湯用電源	
	5	527	ドラフト実験室	実験室(ドラフト付)	電源: 空调用 3φ200V 60A 実験用 3φ200V 200A(ドラフト用含む) 実験用 1φ200V 200A 実験用 1φ100V 400A ドラフト間口 1800mm 4台 天井ケーブルラック(電気、ガス、水道が天井から立ち下げられること) アース線は単独アース必要 ドアは額入りとし、鉄線入ガラスによりで廊下から内部確認ができること。 壁に棚などの耐震固定が可能なナゲシ状のフレーム 高压ポンベ(7㎡、1.5㎡)の収納スペース(10本程度) 器具洗いのため給湯を設ける	給湯用電源	
	5	528	ドラフト実験室	実験室(ドラフト付)	電源: 空调用 3φ200V 60A 実験用 3φ200V 200A(ドラフト用含む) 実験用 1φ200V 200A 実験用 1φ100V 400A 天井ケーブルラック(電気、ガス、水道が天井から立ち下げられること) アース線は単独アース必要 ドアは額入りとし、鉄線入ガラスによりで廊下から内部確認ができること。 壁に棚などの耐震固定が可能なナゲシ状のフレーム 高压ポンベ(7㎡、1.5㎡)の収納スペース(10本程度) 器具洗いのため給湯を設ける	給湯用電源	

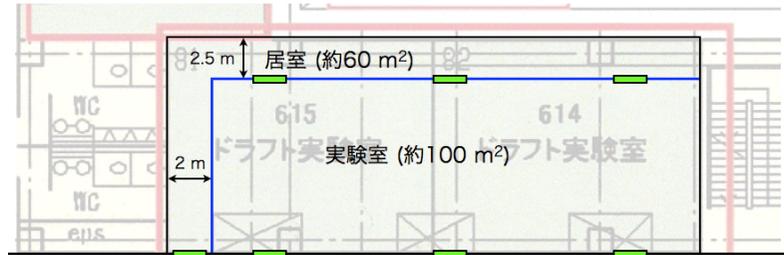
【別表2】各室(エリア)の特殊条件

区分	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考
化生系	6	601	学生居室	北森研究室 学生用の居室 学生が研究活動を行う部屋	夜間以降の利用人員は、12時まで、夜間と同じ人員数。 パソコン 4台程度。プリンタ、コピー、冷蔵庫を含み電源を想定のこと。		
	6	602	学生居室	北森研究室 学生用の居室 学生が研究活動を行う部屋	夜間以降の利用人員は、12時まで、夜間と同じ人員数。 パソコン 4台程度。プリンタ、コピー、冷蔵庫を含み電源を想定のこと。		
	6	603	教員居室	北森研究室 教員の居室 教員が研究を行う部屋	夜間以降の利用人員は、12時まで、夜間と同じ人員数。 パソコン 4台程度。プリンタ、コピー、冷蔵庫を含み、備品としての必要電源は、合計30A程度。		
	6	604	教員居室	北森研究室 秘書室 教員が研究を行う部屋	夜間以降の利用人員は、12時まで、夜間と同じ人員数。 パソコン 4台程度。プリンタ、コピー、冷蔵庫を含み、備品としての必要電源は、合計30A程度		
	6	605	実験室	NMR室	夜間以降の利用人員は、12時まで、夜間と同じ人員数。 都市ガス設備は、実験室において、実験手法上1箇所必要。 実験機器の関係により、空調設定24℃とする。 NMRの他条件は、設置条件書確認のこと。 実験室備品と電源設備は、【別表3】参照。		
	6	606	実験室	細胞実験室	夜間以降の利用人員は、12時まで、夜間と同じ人員数。 都市ガス設備は、実験室において、実験手法上1箇所必要。 実験室備品と電源設備は、【別表3】参照。		
	6	607	ドラフト実験室	北森研究室 化学実験室	夜間以降の利用人員は、12時まで、夜間と同じ人員数。 都市ガス設備は、実験室において、実験手法上1箇所必要。 実験機器の関係により、空調設定24℃とする。 実験室備品と電源設備は、【別表3】参照。		
	6	608	学生居室	北森研究室 教員、学生用の居室 教員、学生が研究活動を行う部屋	夜間以降の利用人員は、12時まで、夜間と同じ人員数。 パソコン 4台程度。プリンタ、コピー、冷蔵庫を含み電源を想定のこと。		

【別表2】各室(エリア)の特殊条件

区分	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考	
化生系	6	609	教員居室	藤田教授室 秘書室	夜間以降の利用人員は、12時まで、夜間と同じ人員数。 パソコン 5台程度。プリンタ、コピー、冷蔵庫を含み電源を想定のこと。 電話・情報設備については、サーバーを設置し、公開している関係で外部との接続回線が必要。 611室との間仕切りに扉を設ける。			
						<p>(計40 m²)</p> <p>611 秘書室 609 教授室</p> <p>— 壁 — 壁 (ガラス張り) — ドア</p>		
	6	610	欠番					
	6	611	ドラフト実験室		夜間以降の利用人員は、12時まで、夜間と同じ人員数。 居室は、パソコン 5台程度。プリンタ、コピー、冷蔵庫を含み電源を想定のこと。 電話・情報設備については、サーバーを設置し、公開している関係で外部との接続回線が必要。 都市ガス設備は、実験室において、実験手法上1箇所必要。 特殊ガスは、Ar、O ₂ 、He、N ₂ 、H ₂ 、NH ₃ 、真空、圧縮空気。 ドラフトチャンバーは、24時間排気のため、空調設備は、その排気に見合った性能が必要。 機器により室外機が付属するケースあり。そのためのサービスバルコニーが必要。見透しの効く間仕切りにより、実験スペースと機器スペース、学生用居室スペースに分ける。 各スペース間には各2箇所づつ扉を設ける。(位置については調整あり) 609室との間仕切りに扉を設ける。 器具洗いのため給湯を設ける	室内間仕切り 給湯用電源		
					<p>2225 611 90 610 609</p> <p>機器室 (約20 m²) 実験室 (約65 m²) 居室 (約25 m²)</p> <p>— 壁 — 壁 (ガラス張り) — ドア</p>			
6	612	欠番						

【別表2】各室(エリア)の特殊条件

区分	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考
化生系	6	613	教員居室	橋本教授室	夜間以降の利用人員は、12時まで、夜間と同じ人員数。 パソコン 4台程度。プリンタ、コピー、冷蔵庫を含み電気容量は約30A必要。		
	6	614	ドラフト実験室		夜間以降の利用人員は、12時まで、夜間と同じ人員数。 実験室備品と電源設備は、【別表3】参照。 電話・情報設備については、サーバーを設置し、公開している関係で外部との接続回線が必要。 都市ガス設備は、実験室において、実験手法上1箇所必要。 特殊ガスは、Ar、O ₂ 、He、N ₂ 、H ₂ 、NH ₃ 、真空、圧縮空気。 ドラフトチャンバーは、24時間排気のため、空調設備は、その排気に見合った性能が必要。 見透しの効く間仕切りにより、学生用居室スペースと実験スペースと分ける。スペース間には3箇所の扉を設ける。(位置については調整あり) 器具洗いのため給湯を設ける <div style="text-align: center;"> <p>— 壁</p> <p>— 壁 (ガラス張り)</p> <p>— ドア</p> </div> 	給湯用電源 室内間仕切り	
	6	615	学生居室	橋本研究室 学生居室	夜間以降の利用人員は、12時まで、夜間と同じ人員数。 パソコン 10台程度。プリンタ、コピー、冷蔵庫を含み電気容量設定のこと。		
	6	616	学生居室	橋本研究室	夜間以降の利用人員は、12時まで、夜間と同じ人員数。 パソコン 10台程度。プリンタ、コピー、冷蔵庫を含み電気容量設定のこと。		
	6	617	学生居室	橋本研究室	夜間以降の利用人員は、12時まで、夜間と同じ人員数。 パソコン 10台程度。プリンタ、コピー、冷蔵庫を含み電気容量設定のこと。		
	6	618	ドラフト実験室	ドラフトチャンバーを用いた実験室	夜間以降の利用人員は、12時まで、夜間と同じ人員数。 電源設備は、622室相当の容量とする。		
	6	619	ドラフト実験室	ドラフトチャンバーを用いた実験室	夜間以降の利用人員は、12時まで、夜間と同じ人員数。 電源設備は、機器については【別表3】を参照。 Ar又はN ₂ を設置。※現在の5号館531,532,021を移転予定。		

【別表2】各室(エリア)の特殊条件

区分	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考
化 生 系	6	620	実験室	水野研究室 GC・LCによる分析 実験室	その他の設備 実験室Ⅱ(分光器実験室)、実験室Ⅲ(吸着実験室)、実験室Ⅳ(GC・LC実験室)は、排気フード1箇所設置。SUS製700角、1200CMH、ポリウムダンパ付、排気処理不要。(ガラス細工用) N2、He、H2、圧縮空気。 ※現在の5号館533.413.021の一部を移転予定。		
	6	621	実験室	水野研究室 吸着用実験室	Ar又はN2を設置。 排気フード1箇所設置。SUS製700角、1200CMH、ポリウムダンパ付、排気処理不要。(ガラス細工用)※現在の5号館530、025の一部を移転予定。		
	6	622	ドラフト実験室	水野研究室 ドラフトチャンバーを用いた実験室	夜間以降の利用人員は、12時まで、夜間と同じ人員数。 電源設備は、機器については【別表3】を参照。 ※現在の5号館531.532.021の一部及びグローブボックスを移転予定。		
	6	623	ドラフト実験室	橋本研究室	夜間以降の利用人員は、12時まで、夜間と同じ人員数。 関連する部屋としては、全室近接希望。 実験室備品と電源設備は、【別表3】参照。 実験室各室に異なる系統のアース各2箇所必要。 都市ガス設備は、実験室において、実験手法上1箇所必要。中央実験台に設置。 特殊ガス設備関係は、実験室において、N2、O2、(空気+H2混合)、CO2、H2必要。 器具洗いのため給湯を設ける	給湯用電源	
	6	624	ドラフト実験室	橋本研究室	夜間以降の利用人員は、12時まで、夜間と同じ人員数。 実験室備品と電源設備は、【別表3】参照。 フリーザ、CO2インキュベータ用に非常用発電機回路必要。(各フロア1箇所に集約する) 実験室各室に異なる系統のアース各2箇所必要。 都市ガス設備は、実験室において、実験手法上1箇所必要。中央実験台に設置。 特殊ガス設備関係は、実験室において、N2、O2、(空気+H2混合)、CO2、H2必要。 器具洗いのため給湯を設ける	給湯用電源	
	6	625	ドラフト実験室	橋本研究室	夜間以降の利用人員は、12時まで、夜間と同じ人員数。 実験室備品と電源設備は、【別表3】参照。 フリーザ、CO2インキュベータ用に非常用発電機回路必要。(各フロア1箇所に集約する) 実験室各室に異なる系統のアース各2箇所必要。 都市ガス設備は、実験室において、実験手法上1箇所必要。中央実験台に設置。 特殊ガス設備関係は、実験室において、N2、O2、(空気+H2混合)、CO2、H2必要。 実験機器の要求で、22°C±2°C、低湿度の個別設定必要。 器具洗いのため給湯を設ける	給湯用電源	
6	626	ドラフト実験室	橋本研究室 分光器室	夜間以降の利用人員は、12時まで、夜間と同じ人員数。 実験室備品と電源設備は、【別表3】参照。 フリーザ、CO2インキュベータ用に非常用発電機回路必要。(各フロア1箇所に集約する) 実験室各室に異なる系統のアース各2箇所必要。 都市ガス設備は、実験室において、実験手法上1箇所必要。中央実験台に設置。 特殊ガス設備関係は、実験室において、N2、O2、(空気+H2混合)、CO2、H2必要。 実験機器の要求で、22°C±2°C、低湿度の個別設定必要。 器具洗いのため給湯を設ける	給湯用電源		

【別表2】各室(エリア)の特殊条件

区分	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考
化生系	6	627	実験室	水野研究室 X線分析装置用の実験室	夜間以降の利用人員は、12時まで、夜間と同じ人員数。 電源設備は、機器については【別表3】を参照。 ※現在の5号館025を移転予定。		
	6	628	教員居室	水野教授室	夜間以降の利用人員は、12時まで、夜間と同じ人員数。 パソコン 4台程度。プリンタ、冷蔵庫を含み、備品としての必要電源は、合計30A程度。 ※現在の5号館529を移転予定。		
	6	629	学生居室	水野研究室 教員、学生用の居室 教員、学生が研究活動を行う部屋。	夜間以降の利用人員は、12時まで、夜間と同じ人員数。 パソコン 機、PCは20台程度。プリンタ、冷蔵庫を含む。 ※現在の5号館536、411、023を移転予定。		
	6	630	実験室	水野研究室 各種分光装置を用いた実験室	※現在の5号館534、14号館のラマン光度計を移転予定。		

【別表2】各室(エリア)の特殊条件

区分	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考
化生系	7	701	コンピューター実験室	コンピューター実験室	電源: 空調用 3φ200V 60A 実験用 1φ200V 50A 実験用 1φ100V 150A コンピューター実験室 手洗い程度をおこなうための生活用給排水設置(本工事外) LAN 4回線 TEL/FAX 2回線 天井ケーブルラック(電線等が天井から立ち下げられること) ドアは額入りとし、鉄線入ガラスによりで廊下から内部確認ができること。 壁に棚などの耐震固定が可能なナゲシ状のフレーム		
	7	702	ドラフト実験室	実験室(ドラフト付)	電源: 空調用 3φ200V 60A 実験用 3φ200V 200A(ドラフト用含む) 実験用 1φ200V 200A 実験用 1φ100V 400A 天井ケーブルラック(電気、ガス、水道が天井から立ち下げられること) アース線は単独アース必要 ドアは額入りとし、鉄線入ガラスによりで廊下から内部確認ができること。 壁に棚などの耐震固定が可能なナゲシ状のフレーム 高圧ポンペ(7㎡、1.5㎡)の収納スペース(10本程度) 器具洗いのため給湯を設ける	給湯用電源	
	7	703	ドラフト実験室	実験室(ドラフト付)	電源: 空調用 3φ200V 60A 実験用 3φ200V 200A(ドラフト用含む) 実験用 1φ200V 200A 実験用 1φ100V 400A 天井ケーブルラック(電気、ガス、水道が天井から立ち下げられること) アース線は単独アース必要 ドアは額入りとし、鉄線入ガラスによりで廊下から内部確認ができること。 壁に棚などの耐震固定が可能なナゲシ状のフレーム 高圧ポンペ(7㎡、1.5㎡)の収納スペース(10本程度) 器具洗いのため給湯を設ける	給湯用電源	
	7	704	ドラフト実験室	実験室(ドラフト付)	電源: 空調用 3φ200V 60A 実験用 3φ200V 200A(ドラフト用含む) 実験用 1φ200V 200A 実験用 1φ100V 400A ドラフト間口 1800mm 4台 天井ケーブルラック(電気、ガス、水道が天井から立ち下げられること) アース線は単独アース必要 ドアは額入りとし、鉄線入ガラスによりで廊下から内部確認ができること。 壁に棚などの耐震固定が可能なナゲシ状のフレーム 高圧ポンペ(7㎡、1.5㎡)の収納スペース(10本程度) 器具洗いのため給湯を設ける	給湯用電源	

【別表2】各室(エリア)の特殊条件

区分	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考
化 生 系	7	705	教員居室	教職員居室	居室は、常時在室人数分のパソコン、レーザープリンターが2~3台、コピー機×1台、家庭用冷蔵庫×1台程度を使用可能な電源を想定のこと。		
	7	706	実験室	実験室			
	7	707	ドラフト実験室	実験室(ドラフト付)	電源: 空調用 3φ200V 30A 実験用 3φ200V 150A(ドラフト用含む) 実験用 1φ200V 150A 実験用 1φ100V 300A 天井ケーブルラック(電気、ガス、水道が天井から立ち下げられること) アース線は単独アース必要 ドアは額入りとし、鉄線入ガラスによりで廊下から内部確認ができること。 壁に棚などの耐震固定が可能なナゲシ状のフレーム 高圧ボンベ(7m ³ 、1.5m ³)の収納スペース(10本程度) 器具洗いのため給湯を設ける	給湯用電源	
	7	708	ドラフト実験室	実験室(ドラフト付)	電源: 空調用 3φ200V 60A 実験用 3φ200V 200A(ドラフト用含む) 実験用 1φ200V 200A 実験用 1φ100V 400A 天井ケーブルラック(電気、ガス、水道が天井から立ち下げられること) アース線は単独アース必要 ドアは額入りとし、鉄線入ガラスによりで廊下から内部確認ができること。 壁に棚などの耐震固定が可能なナゲシ状のフレーム 高圧ボンベ(7m ³ 、1.5m ³)の収納スペース(10本程度) 器具洗いのため給湯を設ける	給湯用電源	
	7	709	教員居室	教職員居室	居室は、常時在室人数分のパソコン、レーザープリンターが2~3台、コピー機×1台、家庭用冷蔵庫×1台程度を使用可能な電源を想定のこと。		
	7	710	実験室	実験室	実験用給排水が必要。 器具洗いのため給湯が必要(水では落ち難い)	給湯用電源	

【別表2】各室(エリア)の特殊条件

区分	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考
化生系	7	711	実験室	実験室	実験用給排水が必要。 器具洗いのため給湯が必要(水では落ち難い)	給湯用電源	
	7	712	ドラフト実験室	実験室(ドラフト付)	電源: 空調用 3φ200V 60A 実験用 3φ200V 200A(ドラフト用含む) 実験用 1φ200V 200A 実験用 1φ100V 400A 天井ケーブルラック(電気、ガス、水道が天井から立ち下げられること) アース線は単独アース必要 ドアは額入りとし、鉄線入ガラスによりで廊下から内部確認ができること。 壁に棚などの耐震固定が可能なナゲシ状のフレーム 高圧ポンペ(7m ² 、1.5m ²)の収納スペース(10本程度) 器具洗いのため給湯を設ける	給湯用電源	
	7	713	欠番				
	7	714	ドラフト実験室	実験室(ドラフト付)	電源: 空調用 3φ200V 60A 実験用 3φ200V 200A(ドラフト用含む) 実験用 1φ200V 200A 実験用 1φ100V 400A 天井ケーブルラック(電気、ガス、水道が天井から立ち下げられること) アース線は単独アース必要 ドアは額入りとし、鉄線入ガラスによりで廊下から内部確認ができること。 壁に棚などの耐震固定が可能なナゲシ状のフレーム 高圧ポンペ(7m ² 、1.5m ²)の収納スペース(10本程度) 器具洗いのため給湯を設ける	給湯用電源	
	7	715	教員居室	教職員居室	居室は、常時在室人数分のパソコン、レーザープリンターが2~3台、 コピー機×1台、家庭用冷蔵庫×1台程度を使用可能な電源を想定のこと。		
	7	716	実験室	実験室	実験用給排水が必要。 器具洗いのため給湯を設ける(水では落ち難い)	給湯用電源	

【別表2】各室(エリア)の特殊条件

区分	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考
化生系	7	717	ドラフト実験室		電源: 空調用 3φ200V 60A 実験用 3φ200V 200A(ドラフト用含む) 実験用 1φ200V 200A 実験用 1φ100V 400A 天井ケーブルラック(電気、ガス、水道が天井から立ち下げられること) アース線は単独アース必要 ドアは額入りとし、鉄線入ガラスによりで廊下から内部確認ができること。 壁に棚などの耐震固定が可能なナゲシ状のフレーム 高圧ボンベ(7m ³ 、1.5m ³)の収納スペース(10本程度) 器具洗いのため給湯を設ける	給湯用電源	
	7	718	ドラフト実験室	実験室(ドラフト付)	電源: 空調用 3φ200V 60A 実験用 3φ200V 200A(ドラフト用含む) 実験用 1φ200V 200A 実験用 1φ100V 400A 天井ケーブルラック(電気、ガス、水道が天井から立ち下げられること) アース線は単独アース必要 ドアは額入りとし、鉄線入ガラスによりで廊下から内部確認ができること。 壁に棚などの耐震固定が可能なナゲシ状のフレーム 高圧ボンベ(7m ³ 、1.5m ³)の収納スペース(10本程度) 器具洗いのため給湯を設ける	給湯用電源	
	7	719	ドラフト実験室	実験室(ドラフト付) 分析機器用	電源: 空調用 3φ200V 30A 実験用 3φ200V 150A(ドラフト用含む) 実験用 1φ200V 150A 実験用 1φ100V 300A ドラフト間口 1200mm 1台 天井ケーブルラック(電気、ガス、水道が天井から立ち下げられること) アース線は単独アース必要 ドアは額入りとし、鉄線入ガラスによりで廊下から内部確認ができること。 壁に棚などの耐震固定が可能なナゲシ状のフレーム 高圧ボンベ(7m ³ 、1.5m ³)の収納スペース(10本程度) 器具洗いのため給湯を設ける	給湯用電源	

【別表2】各室(エリア)の特殊条件

区分	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考
化生系	7	720	ドラフト実験室	実験室(ドラフト付) 分析機器用	電源: 空調用 3φ200V 30A 実験用 3φ200V 150A(ドラフト用含む) 実験用 1φ200V 150A 実験用 1φ100V 300A 天井ケーブルラック(電気、ガス、水道が天井から立ち下げられること) アース線は単独アース必要 ドアは額入りとし、鉄線入ガラスによりで廊下から内部確認ができること。 壁に棚などの耐震固定が可能なナゲシ状のフレーム 高圧ボンベ(7m ³ 、1.5m ³)の収納スペース(10本程度) 器具洗いのため給湯を設ける	給湯用電源	
	7	721	実験室	実験室	実験用給排水が必要。 器具洗いのため給湯が必要(水では落ち難い)	給湯用電源	
	7	722	教員居室	教職員居室	・居室備品と電源設備 居室は、常時在室人数分のパソコン、レーザープリンターが2~3台、コピー機×1台、家庭用冷蔵庫×1台程度を使用可能な電源を想定のこと。		
	7	723	ドラフト実験室	実験室(ドラフト付)	電源: 空調用 3φ200V 100A 実験用 3φ200V 200A(ドラフト用含む) 実験用 1φ200V 200A 実験用 1φ100V 600A 天井ケーブルラック(電気、ガス、水道が天井から立ち下げられること) アース線は単独アース必要 ドアは額入りとし、鉄線入ガラスによりで廊下から内部確認ができること。 壁に棚などの耐震固定が可能なナゲシ状のフレーム 高圧ボンベ(7m ³ 、1.5m ³)の収納スペース(10本程度) 器具洗いのため給湯を設ける	給湯用電源	
7	724	ドラフト実験室	実験室(ドラフト付)	電源: 空調用 3φ200V 100A 実験用 3φ200V 200A(ドラフト用含む) 実験用 1φ200V 200A 実験用 1φ100V 600A 天井ケーブルラック(電気、ガス、水道が天井から立ち下げられること) アース線は単独アース必要 ドアは額入りとし、鉄線入ガラスによりで廊下から内部確認ができること。 壁に棚などの耐震固定が可能なナゲシ状のフレーム 高圧ボンベ(7m ³ 、1.5m ³)の収納スペース(10本程度) 器具洗いのため給湯を設ける	給湯用電源		

【別表2】各室(エリア)の特殊条件

区分	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考
化生系	7	725	ドラフト実験室	実験室(ドラフト付)	電源: 空調用 3φ200V 100A 実験用 3φ200V 200A(ドラフト用含む) 実験用 1φ200V 200A 実験用 1φ100V 600A 天井ケーブルラック(電気、ガス、水道が天井から立ち下げられること) アース線は単独アース必要 ドアは額入りとし、鉄線入ガラスにより廊下から内部確認ができること。 壁に棚などの耐震固定が可能なナゲシ状のフレーム 高圧ポンペ(7m ³ 、1.5m ³)の収納スペース(10本程度) 器具洗いのため給湯を設ける	給湯用電源	
	7	726	コンピューター実験室	コンピューター実験室	電源: 空調用 3φ200V 60A 実験用 1φ200V 50A 実験用 1φ100V 150A コンピューター実験室 LAN 4回線 TEL/FAX 2回線 天井ケーブルラック(電線等が天井から立ち下げられること) ドアは額入りとし、鉄線入ガラスにより廊下から内部確認ができること。 壁に棚などの耐震固定が可能なナゲシ状のフレーム		
	7	727	欠番				
	7	728	実験室	実験室	実験用給排水が必要。 器具洗いのため給湯が必要(水では落ち難い)	給湯用電源	
	7	729	教員居室	教職員居室	居室は、常時在室人数分のパソコン、レーザープリンターが2~3台、 コピー機×1台、家庭用冷蔵庫×1台程度を使用可能な電源を想定のこと。		
	7	730	実験室	実験室	実験用給排水が必要。 器具洗いのため給湯が必要(水では落ち難い)	給湯用電源	
	7	731	教員居室	教職員居室	居室は、常時在室人数分のパソコン、レーザープリンターが2~3台、 コピー機×1台、家庭用冷蔵庫×1台程度を使用可能な電源を想定のこと。		

【別表2】各室(エリア)の特殊条件

区分	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考
化生系	8	801	教員居室	教職員居室	扉は搬入の為1箇所は、引き戸W1200×H2100とする。 居室は、常時在室人数分のパソコン、レーザープリンターが2～3台、コピー機×1台、家庭用冷蔵庫×1台程度を使用可能な電源を用意する。		
	8	802	実験室	研究室	扉は搬入の為1箇所は、引き違い戸W1800×H2100とする。 実験用給排水は実験スペースに必要。 都市ガスはクリーンベンチに利用する 天井までの見透しのきく間仕切りを設け、実験スペースと、実験観測用の学生居室スペースとに分ける。 間仕切りには出入り口を設け行き来可能とする 器具洗いのため給湯を設置(水では落ち難い)	給湯用電源	
	8	803	ドラフト実験室	実験室	情報コンセントは各部屋間をLANで結ぶ為2箇所設置。 扉は搬入の為1箇所は引き違い戸W1800×H2100にし、物を持った状態で扉の開閉が出来るように引き戸とする。 実験用給排水は実験スペースに必要。 天井までの見透しのきく間仕切りを設け、実験スペースと、実験観測用の学生居室スペースとに分ける。 間仕切りには出入り口を設け行き来可能とする 実験室備品と電源設備は、【別表3】参照。	室内間仕切り	
	8	804	欠番				
	8	805	実験室	研究室	扉は搬入の為1箇所は、引き違い戸W1800×H2100とする。 実験用給排水は実験スペースに必要。 都市ガスはクリーンベンチに利用する 天井までの見透しのきく間仕切りを設け、実験スペースと、実験観測用の学生居室スペースとに分ける。 間仕切りには出入り口を設け行き来可能とする 器具洗いのため給湯を設置(水では落ち難い)	室内間仕切り 給湯用電源	
	8	806	教員居室	教職員居室	扉は搬入の為1箇所は、引き戸W1200×H2100とする。 居室は、常時在室人数分のパソコン、レーザープリンターが2～3台、コピー機×1台、家庭用冷蔵庫×1台程度を使用可能な電源を用意する。		
	8	807	ドラフト実験室	実験室	情報コンセントは各部屋間をLANで結ぶ為2箇所設置。 扉は搬入の為1箇所は、引き違い戸W1800×H2100にし、物を持った状態で扉の開閉が出来るように引き戸とする。 実験用給排水は実験スペースに必要。 天井までの見透しのきく間仕切りを2箇所設け、実験スペースと、実験観測用の学生居室スペース2箇所とに分ける。 間仕切りには出入り口を設け行き来可能とする 実験室備品と電源設備は、【別表3】参照。	室内間仕切り	
	8	808	教員居室	教職員居室	扉は搬入の為1箇所は、引き戸W1200×H2100とする。 居室は、常時在室人数分のパソコン、レーザープリンターが2～3台、コピー機×1台、家庭用冷蔵庫×1台程度を使用可能な電源を用意する。		
	8	809	ドラフト実験室	実験室	情報コンセントは各部屋間をLANで結ぶ為2箇所設置。 扉は搬入の為1箇所は、引き違い戸W1800×H2100にし、物を持った状態で扉の開閉が出来るように引き戸とする。 実験用給排水は実験スペースに必要。 天井までの見透しのきく間仕切りを設け、実験スペースと、実験観測用の学生居室スペースとに分ける。 間仕切りには出入り口を設け行き来可能とする 実験室備品と電源設備は、【別表3】参照。	室内間仕切り	

【別表2】各室(エリア)の特殊条件

区分	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考
化生系	8	810	ドラフト実験室	実験室	情報コンセントは各部屋間をLANで結ぶ為2箇所設置。 扉は搬入の為1箇所は、引き違い戸W1800×H2100にし、物を持った状態で扉の開閉が出来るように引き戸とする。 実験用給排水は実験スペースに必要。 天井までの見透しのきく間仕切りを設け、実験スペースと、実験観測用の学生居室スペースとに分ける。 間仕切りには出入り口を設け行き来可能とする 実験室備品と電源設備は、【別表3】参照。	室内間仕切り	
	8	811	ドラフト実験室	実験室	情報コンセントは各部屋間をLANで結ぶ為2箇所設置。 扉は搬入の為1箇所は、引き違い戸W1800×H2100にし、物を持った状態で扉の開閉が出来るように引き戸とする。 実験用給排水は実験スペースに必要。 天井までの見透しのきく間仕切りを設け、実験スペースと、実験観測用の学生居室スペースとに分ける。 間仕切りには出入り口を設け行き来可能とする 実験室備品と電源設備は、【別表3】参照。	室内間仕切り	
	8	812	ドラフト実験室	実験室	情報コンセントは各部屋間をLANで結ぶ為2箇所設置。 扉は搬入の為1箇所は、引き違い戸W1800×H2100にし、物を持った状態で扉の開閉が出来るように引き戸とする。 実験用給排水は実験スペースに必要。 天井までの見透しのきく間仕切りを設け、実験スペースと、実験観測用の学生居室スペースとに分ける。 間仕切りには出入り口を設け行き来可能とする 実験室備品と電源設備は、【別表3】参照。	室内間仕切り	
	8	813	教員居室	教職員居室	扉は搬入の為1箇所は、引き戸W1200×H2100とする。 居室は、常時在室人数分のパソコン、レーザープリンターが2～3台、コピー機×1台、家庭用冷蔵庫×1台程度を使用可能な電源を用意する。		
	8	814	ドラフト実験室	実験室	情報コンセントは各部屋間をLANで結ぶ為2箇所設置。 扉は搬入の為1箇所は、引き違い戸W1800×H2100にし、物を持った状態で扉の開閉が出来るように引き戸とする。 実験用給排水は実験スペースに必要。 天井までの見透しのきく間仕切りを設け、実験スペースと、実験観測用の学生居室スペースとに分ける。 間仕切りには出入り口を設け行き来可能とする 実験室備品と電源設備は、【別表3】参照。	室内間仕切り	
	8	815	教員居室	教職員居室	扉は搬入の為1箇所は、引き戸W1200×H2100とする。 居室は、常時在室人数分のパソコン、レーザープリンターが2～3台、コピー機×1台、家庭用冷蔵庫×1台程度を使用可能な電源を用意する。		
	8	816	ドラフト実験室	実験室	情報コンセントは各部屋間をLANで結ぶ為2箇所設置。 扉は搬入の為1箇所は、引き違い戸W1800×H2100にし、物を持った状態で扉の開閉が出来るように引き戸とする。 実験用給排水は実験スペースに必要。 天井までの見透しのきく間仕切りを設け、実験スペースと、実験観測用の学生居室スペースとに分ける。 間仕切りには出入り口を設け行き来可能とする 実験室備品と電源設備は、【別表3】参照。	室内間仕切り	
	8	817	ドラフト実験室	実験室	情報コンセントは各部屋間をLANで結ぶ為2箇所設置。 扉は搬入の為1箇所は、引き違い戸W1800×H2100にし、物を持った状態で扉の開閉が出来るように引き戸とする。 実験用給排水は実験スペースに必要。 実験室備品と電源設備は、【別表3】参照。		

【別表2】各室(エリア)の特殊条件

区分	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考
化生系	8	818	ドラフト実験室	実験室	情報コンセントは各部屋間をLANで結ぶ為2箇所設置。 扉は搬入の為1箇所は、引き違い戸W1800×H2100にし、物を持った状態で扉の開閉が出来るように引き戸とする。 実験用給排水は実験スペースに必要。 天井までの見透しのさく間仕切りを設け、実験スペースと、実験観測用の学生居室スペースとに分ける。 間仕切りには出入り口を設け行き来可能とする 実験室備品と電源設備は、【別表3】参照。		
	8	819	実験室	実験室	扉は搬入の為1箇所は、引き違い戸W1800×H2100とする。 実験用給排水は実験スペースに必要。 都市ガスはクリーンベンチに利用する 天井までの見透しのさく間仕切りを設け、実験スペースと、実験観測用の学生居室スペースとに分ける。 間仕切りには出入り口を設け行き来可能とする 器具洗いのため給湯を設ける	室内間仕切り 給湯用電源	
	8	820	実験室	実験室	扉は搬入の為1箇所は、引き違い戸W1800×H2100とする。 実験用給排水は実験スペースに必要。 都市ガスはクリーンベンチに利用する 天井までの見透しのさく間仕切りを設け、実験スペースと、実験観測用の学生居室スペースとに分ける。 間仕切りには出入り口を設け行き来可能とする 器具洗いのため給湯を設ける	室内間仕切り 給湯用電源	

【別表2】各室(エリア)の特殊条件

区分	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考
化生系	9	901	ドラフト実験室	ドラフトチャンバーを用いた実験室	夜間以降の利用人員は、12時まで、夜間と同じ人員数。 ドラフトチャンバーは、24時間排気のため、空調設備は、その排気に見合った性能が必要。 実験室備品と電源設備は、【別表3】参照。 器具洗いのため給湯を設ける	給湯用電源	
	9	902	ドラフト実験室	実験室	夜間以降の利用人員は、12時まで、夜間と同じ人員数。 実験室各室に異なる系統のアース各2箇所必要。 実験機器の要求で、22℃±2℃、低湿度の個別設定必要。 実験室備品と電源設備は、【別表3】参照。		
	9	903	欠番				
	9	904	欠番				
	9	905	欠番				
	9	906	ドラフト実験室		扉は搬入の為1箇所は、引き違い戸W1800×H2100とする。 実験用給排水は実験スペースに必要。 器具洗いのため給湯を設ける	室内間仕切り 給湯用電源	
	9	907	ドラフト実験室		扉は搬入の為1箇所は、引き違い戸W1800×H2100とする。 実験用給排水は実験スペースに必要。	室内間仕切り	
	9	908	ドラフト実験室		情報コンセントは各部屋間をLANで結ぶ為2箇所設置。 扉は搬入の為1箇所は、引き違い戸W1800×H2100とする。 実験用給排水は実験スペースに必要。 器具洗いのため給湯を設ける	給湯用電源	
	9	909	教員居室	教職員居室	居室は、常時在室人数分のパソコン、レーザープリンターが2～3台、コピー機×1台、家庭用冷蔵庫×1台程度を使用可能な電源を想定のこと。		
	9	910	実験室	実験室	実験用給排水が必要。 器具洗いのため給湯を設置(水では落ち難い)	給湯用電源	
	9	911	ドラフト実験室	実験室(ドラフト付)	電源： 空調用 3φ200V 100A 実験用 3φ200V 200A(ドラフト用含む) 実験用 1φ200V 200A 実験用 1φ100V 600A 天井ケーブルラック(電気、ガス、水道が天井から立ち下げられること) アース線は単独アース必要 ドアは額入りとし、鉄線入ガラスにより廊下から内部確認ができること。 壁に棚などの耐震固定が可能なナゲシ状のフレーム 高圧ポンペ(7㎡、1.5㎡)の収納スペース(10本程度) 器具洗いのため給湯を設ける	給湯用電源	

【別表2】各室(エリア)の特殊条件

区分	階	部屋番号	室名(エリア)	部屋の用途	特殊条件	事業者が整備する備品等	備考
化生系	9	912	専攻共通実験室		扉は搬入の為1箇所は、引き違い戸W1800×H2100とする。 実験用給排水は実験スペースに必要。 器具洗いのため給湯を設置(水では落ち難い) 都市ガスはクリーンベンチに利用する	給湯用電源	
	9	913	ドラフト実験室	実験室(ドラフト付)	電源: 空調用 3φ200V 60A 実験用 3φ200V 200A(ドラフト用含む) 実験用 1φ200V 200A 実験用 1φ100V 400A 天井ケーブルラック(電気、ガス、水道が天井から立ち下げられること) アース線は単独アース必要 ドアは額入りとし、鉄線入ガラスによりで廊下から内部確認ができること。 壁に棚などの耐震固定が可能なナゲシ状のフレーム 高圧ポンペ(7m、1.5m)の収納スペース(10本程度) 器具洗いのため給湯を設ける	室内間仕切り 給湯用電源	
	9	914	欠番				
	9	915	欠番				